

平成26年度  
第3期行財政経営計画  
外部評価報告書

平成27年2月

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会

## はじめに

第5次鈴鹿市総合計画の基本計画である「第3期行財政経営計画」に掲げた単位施策について、外部の視点から行政評価を活用した検証を行うため、鈴鹿市行財政経営計画検証委員会を昨年引き続き開催し、内部評価結果に対して検証を行いました。

単位施策の進行管理については行政内部による評価が進められていますが、評価結果に対する外部による検証により、職員意識の向上など一定の成果が現れてきていると感じます。

今後、人口減少・超高齢社会の進展は、各地方自治体が直面している共有の課題とされています。鈴鹿市も例外ではなく、将来を展望したとき、財源の確保が困難と予想される中、住民ニーズの変化に的確に対応した施策の選択と展開が可能となるよう、限られた経営資源の効果的な配分とともに、効率的な行財政運営が求められることから、その舵取りについては、大いに期待するところです。

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会による行政評価に対する本検証結果が、第3期行財政経営計画の適切な進行管理に寄与し、次期計画の策定におけるPDCAサイクルの機能充実、トータルマネジメントシステムの構築に向けた一助となり、次期計画が効率的で実効性のある計画となる仕組みづくりへ反映されることを切に願います。

平成27年2月

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会

委員長 杉浦礼子

## 目 次

1	外部評価導入の2年目にあたって・・・・・・・・・・	1
2	平成26年度鈴鹿市行財政経営計画検証委員会について ・・・・・・・・・・	1
	(1) 委員の構成・・・・・・・・・・	1
	(2) 検証委員会の開催・・・・・・・・・・	1
	(3) 外部評価の実施方法・・・・・・・・・・	3
	(4) 外部評価の視点・・・・・・・・・・	5
3	外部評価の結果について・・・・・・・・・・	7
4	2年間の行財政経営計画検証委員会を振り返って・・・	13
	(1) 外部評価の進捗状況・・・・・・・・・・	13
	(2) これまでの評価を終えて・・・・・・・・・・	18
5	平成27年度に向けて・・・・・・・・・・	18
6	資料・・・・・・・・・・	19
	① 行財政経営計画検証委員会評価対象一覧・・・・・・・・	19
	② 行財政経営計画検証委員会評価結果・・・・・・・・	20
	③ 第3期行財政経営計画 施策体系図・・・・・・・・	44
	④ 単位施策評価シート・・・・・・・・・・	52
	⑤ 行財政経営計画検証委員会 委員名簿・・・・・・・・	114
	⑥ 鈴鹿市市民委員会規則（一部抜粋）・・・・・・・・	115

## 1 外部評価導入の2年目にあたって

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会（以下、「検証委員会」という。）では、第5次鈴鹿市総合計画「みんなで築く鈴鹿夢プラン」の基本構想に掲げた政策の実現のために、行政がリーダーシップを持って実施していく施策や単位施策について示している行財政経営計画のより適切な進行管理につながることを目的に外部評価を実施しました。

検証委員会については、平成28年度までの4年間を試行期間として、評価方法等の改善、見直しも行い、外部評価の本格実施に向けて、システムの確立を目指していくとされており、外部評価導入から2年目となる本年は、評価対象単位施策の選定方法の見直しなどのほか、昨年度において外部評価対象となった単位施策について、「評価シート内容の改善がなされPDCAサイクルが適切に機能しているか」の検証も行いました。

## 2 平成26年度鈴鹿市行財政経営計画検証委員会について

### （1）委員の構成

検証委員会は、学識経験者1名と、第3期行財政経営計画の策定に携わった鈴鹿市総合計画審議会委員の中から、「政策の柱」及び「構想の推進のために」を含む6つの分野を考慮して4名の委員を選出し、計5名で構成しています。

委員の任期は、平成25年度から2年以内となっています。

### （2）検証委員会の開催

検証委員会は、全5回開催しました。

第1回検証委員会では、事前作業において、委員が評価対象とすべき単位施策を24件抽出したのについて、単位施策評価シートの内容について情報共有を行い、検証すべき事項を委員で共有しました。その結果をもとにヒアリングによる評価、書面審査による評価とする単位施策を決定しました。

第2回から第4回までの検証委員会では、第1回検証委員会で決定したヒアリングによる評価の対象となった単位施策について、担当部署に対す

る聴き取りを行いました。

ヒアリング対象としなかった単位施策については、書面審査による評価を行い、第5回検証委員会ですべての評価結果をとりまとめました。

第5回検証委員会では、平成26年度の外部評価報告書案の検討、平成27年度の検証委員会について検討を行いました。

昨年度からの変更点として、1点目は、ヒアリングによる評価を短い期間で集中的に実施し、効率的かつ円滑な委員会運営に努めました。2点目は、評価を実施する際、評価作業の効率化を図るため、評価の参考として5段階の評価基準を置き、各委員が5段階評価を行った上で、委員会としての意見を集約する際の参考となるよう実施しました。

#### 【検証委員会の開催状況】

##### 第1回検証委員会

開催日 平成26年10月 7日（火） 14：00～17：20  
内 容 外部評価実施単位施策別意見書の確認、  
ヒアリング及び書面審査の決定

##### 第2回検証委員会

開催日 平成26年11月 4日（火） 14：00～17：00  
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施（3件）

##### 第3回検証委員会

開催日 平成26年11月14日（金） 9：00～12：00  
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施（3件）

##### 第4回検証委員会

開催日 平成26年11月17日（月） 9：00～12：00  
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施（3件）

##### 第5回検証委員会

開催日 平成27年 2月 5日（木） 14：00～15：50  
内 容 平成26年度第3期行財政経営計画外部評価報告書（案）  
に関する協議について、  
平成27年度以降の行財政経営計画検証委員会について

### (3) 外部評価の実施方法

外部評価による検証は、試行という形で平成25年度から平成28年度の4年間をかけて実施することとしています。

評価対象は、第3期行財政経営計画を構成する124単位施策ですが、すべての単位施策について検証することは困難であるため、検証委員会では、試行期間中に、このうちの約80%（100単位施策程度）にあたる単位施策について外部評価することを目標としています。

外部評価の実施方法は、ヒアリングによる方法と、書面審査による方法で検証を行うこととしました。

対象となる単位施策の抽出方法については、第3期行財政経営計画の「政策・テーマ」ごとのバランスを考慮し、各委員の知見を活かせる分野として政策の柱ごとに担当委員を決め、平成25年度に評価を行った単位施策を除き、全ての単位施策評価シート等を確認し、各委員が検証すべきと考える単位施策を抽出しました。それをもとに検証委員会で協議し、平成26年度実施分の24件の単位施策を選定しました。（P4参照）

実施方法としては、検証期間等を考慮して、第1回検証委員会での協議の結果、委員がヒアリング対象とすべき意見が多かった9件の単位施策をヒアリングによる評価として残り15件を書面による評価としました。

なお、平成25年度検証委員会で検証を行った対象単位施策については、平成26年度の評価に意見が反映されているか、確認する作業も実施しました。

平成26年度外部評価実施単位施策一覧

政策の柱	単位施策	主担当課名	単位施策名	評価方法
1	7	児童保育課	保育環境の充実	ヒアリング
1	13	教育支援課	人権教育の推進	書面評価
1	14	教育指導課	学校教育の支援・研究	ヒアリング
1	20	文化課	文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進	書面評価
2	23	廃棄物対策課	リサイクル施策の推進と資源化の促進	ヒアリング
2	25	開発整備課	循環型社会に向けた基盤整備	書面評価
3	38	長寿社会課	高齢者福祉の推進	ヒアリング
3	40	住宅課	住生活基本計画の推進	ヒアリング
3	44	健康づくり課	健康づくりの啓発の推進	書面評価
3	48	健康づくり課	医療体制の充実	ヒアリング
3	50	人権政策課	人権・平和意識の高揚	書面評価
3	52	市民対話課	外国人市民との地域共生と異文化理解の推進	書面評価
3	55	商業観光課	公共交通の利便性向上	書面評価
4	59	市街地整備課	良好な住環境の創造・保全	書面評価
4	69	農林水産課	農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成	ヒアリング
5	83	河川雨水対策課	河川・排水路の整備推進	書面評価
5	87	防災危機管理課	避難所の整備	ヒアリング
5	96	予防課	火災予防対策	書面評価
5	104	産業政策課	安心できる消費生活の確保	書面評価
6	111	企画課	シティセールスの推進	ヒアリング
6	112	人事課	機動的な組織・体制の構築	書面評価
6	113	人事課	環境変化に対応できる人材育成	書面評価
6	114	納税課	自主財源の積極的な確保	書面評価
6	115	企画課	広域行政の推進	書面評価

※詳細は、P 19以下 ②平成26年度「行財政経営計画検証委員会評価結果」参照

#### ① ヒアリングによる検証

事前に委員から意見を聴取し、委員意見に対する各担当課からの回答を得て、再度その回答内容について委員へ情報提供した上でヒアリングを実施しました。

ヒアリングは、1件の単位施策につき、担当課からの説明10分、質疑応答20分、検証委員会としての意見のとりまとめ15分、計45分間で実施しました。

ヒアリングによる外部評価結果の詳細は、P19以下の「行財政経営計画検証委員会評価結果」にまとめました。

#### ② 書面審査による検証

ヒアリングと同様に、まず事前に委員から意見を聴取し、委員意見に対する各担当課からの回答を得た後、検証委員会で書面審査による評価対象となった単位施策について、再度その回答内容について委員から再意見を聴取し、担当課から再回答を得た上で、書面審査による評価を実施しました。

その後、担当課からの再回答に至るまでの一連の経過を踏まえて、各委員が検証を行った後、検証委員会としての外部評価結果をとりまとめました。

書面審査による外部評価結果の詳細についても、P19以下「行財政経営計画検証委員会評価結果」にまとめました。

### (4) 外部評価の視点

行政が実施した単位施策評価の実施結果を適切に検証するため、外部評価は、単位施策評価シートの項目に基づき、以下の6つの視点から実施しました。

#### ① 目標値は適切に設定されているか（単位施策評価シート項目5）

成果指標の目標値が、現状や実績からみて、かけ離れていないか、適切か。



② 施策が計画どおり進捗しているか（単位施策評価シート項目5）

第5次鈴鹿市総合計画の最終目標に向かって、単位施策を計画的に推進しているか。

③ 総合評価は妥当であるか（単位施策評価シート項目7）

目標の達成状況や構成する事務事業の取組状況を踏まえて評価しているか。

④ 課題認識は妥当であるか（単位施策評価シート項目8）

市民ニーズや社会情勢など、行政を取り巻く環境の変化や、今後の予測を踏まえて、課題認識が妥当であるか。

⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか（単位施策評価シート項目9）

課題認識を踏まえて、今後の取組の方向性は妥当であるか。

⑥ その他

単位施策の事業内容に関することやコメントなど、上記の項目以外のこと。

評価を実施する際、評価作業の効率化を図るため、評価の参考として以下のとおり5段階の評価基準を置き、委員会としての意見を集約する際の参考としました。

- A 特に優れている
- B 優れている
- C 概ね適切である
- D 一部改善・検討が必要である。
- E 改善・検討が必要である。

### 3 外部評価の結果について

検証の結果については、ヒアリングによる外部評価および書面審査による外部評価を、いずれも単位施策ごとにまとめました。

次ページ以降に、外部評価による検証結果の総括を示しますが、それぞれの単位施策に対する評価内容は、P19以下の「行財政経営計画検証委員会評価結果」の各評価結果のシートをご参照ください。

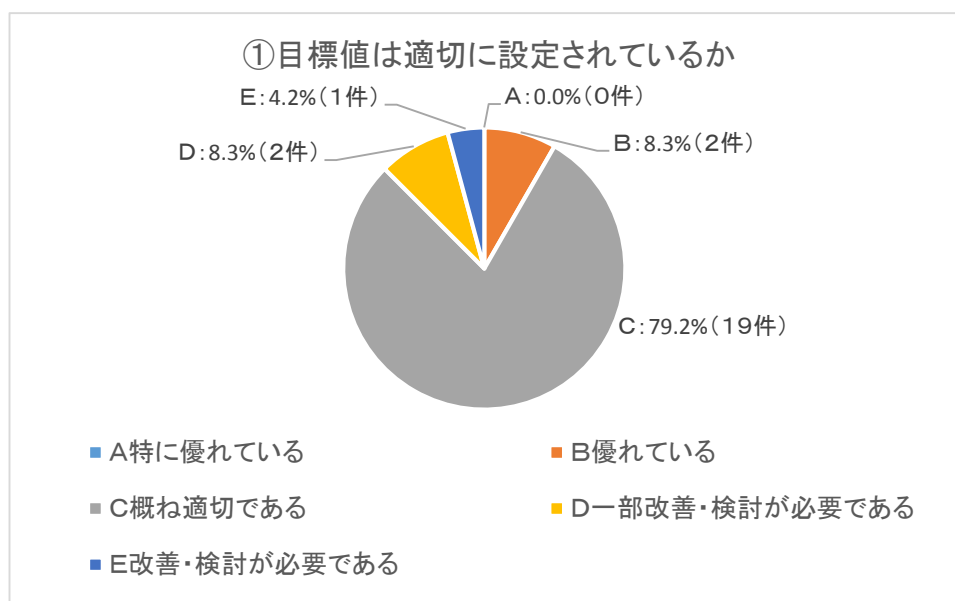
## 【検証結果の総括】

### ① 目標値は適切に設定されているか

目標値については、全体24件中21件（88%）は5段階評価で「優れている、概ね適切である」との評価となり、適切に設定されているものと考えられましたが、残り3件（12%）については、未実施のため評価が出来ないものや外部の要因によって影響が大きく出てしまう指標があるもの等がありました。

「優れている、概ね適切である」との5段階評価の中にも、外部団体等の活動による数値を指標として設定している単位施策があり、市の事業や施策からの指標設定が望ましいと考えます。

昨年度と同様に、全体的には適切な指標が多かったと考えますが、次期計画策定の際には、単位施策の目的をよりの確に表す指標の設定を検討する必要があります。



### 5段階評価結果の分布

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	7	1	1
書面評価	0	2	12	1	0

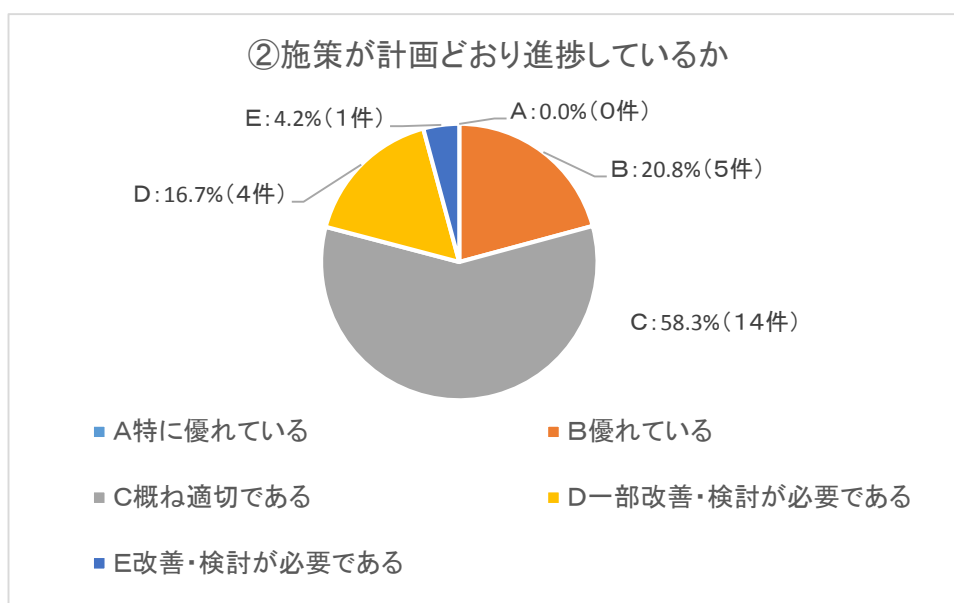
(単位：単位施策数)

## ② 施策が計画どおり進捗しているか

5段階評価での結果が「優れている，概ね適切である」となり，計画どおり進捗している，概ね計画どおり進捗している評価結果と判断されたものが全体24件中19件（79%）となりました。

評価結果が「一部改善・検討が必要である，改善・検討が必要である」となり，計画どおり進捗しているとは言い難い状況となった単位施策については，目標達成に向けて更なる努力が必要です。

しかし，計画どおり進捗している単位施策についても，引き続き目標達成となるよう努力する必要があります。



## 5段階評価結果の分布

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	3	4	1	1
書面評価	0	2	10	3	0

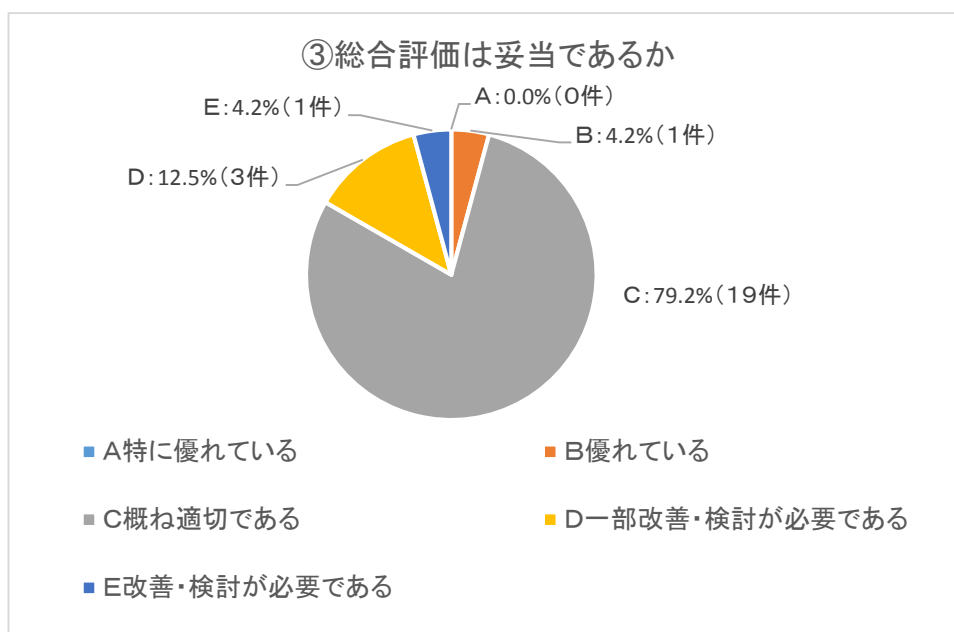
(単位：単位施策数)

### ③ 総合評価は妥当であるか

全体24件中20件（83%）については、5段階評価の結果が「優れている、概ね適切である」結果となり、総合評価については妥当である、概ね妥当であるという結果となりました。

残り4件（17%）については改善・検討が必要、一部改善・検討が必要となりましたが、総合評価として、単施策の目的に対する総合評価となっていないものや、原因の分析を明確にすることや、検証した結果を総合評価として具体的な記載に努めることが必要です。

概ね妥当であるとの評価を得た単施策についても、更なる分析や、総合評価について明確な記載に努める必要があります。



### 5段階評価結果の分布

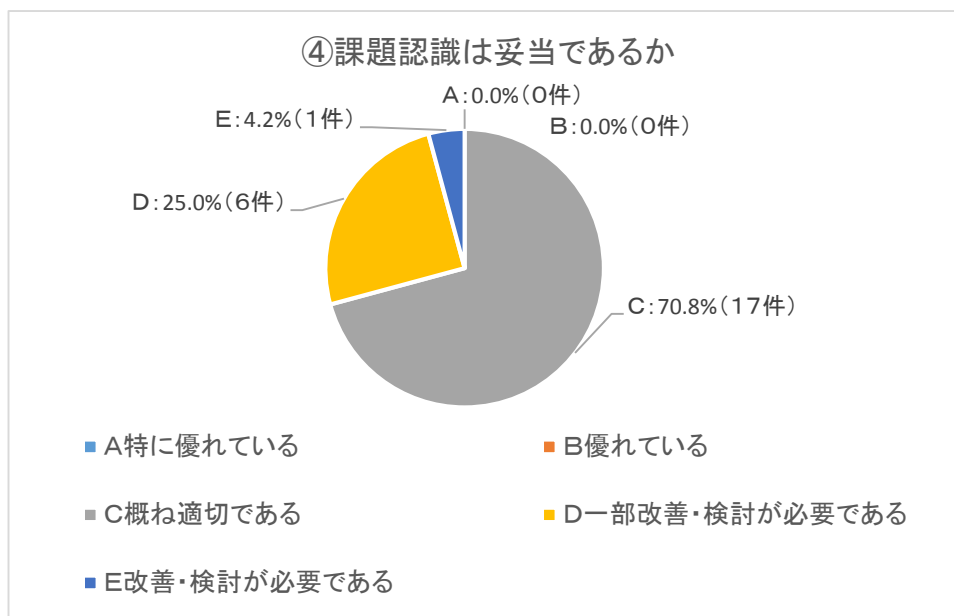
	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	6	2	1
書面評価	0	1	13	1	0

(単位：単施策数)

#### ④ 課題認識は妥当であるか

全体24件中17件（71%）については、5段階評価の結果が「優れている、概ね適切である」結果となり、課題認識については、妥当である、概ね妥当である評価結果となりました。

改善・検討が必要、一部改善・検討が必要となった7件（29%）の他、概ね妥当である結果となった単位施策にも、課題に対する検証・分析に基づいた課題の洗い出しの必要性や課題認識が具体性に欠けるため、明確な表記に努める必要がある意見が16件（67%）になりました。



#### 5段階評価結果の分布

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	3	5	1
書面評価	0	0	14	1	0

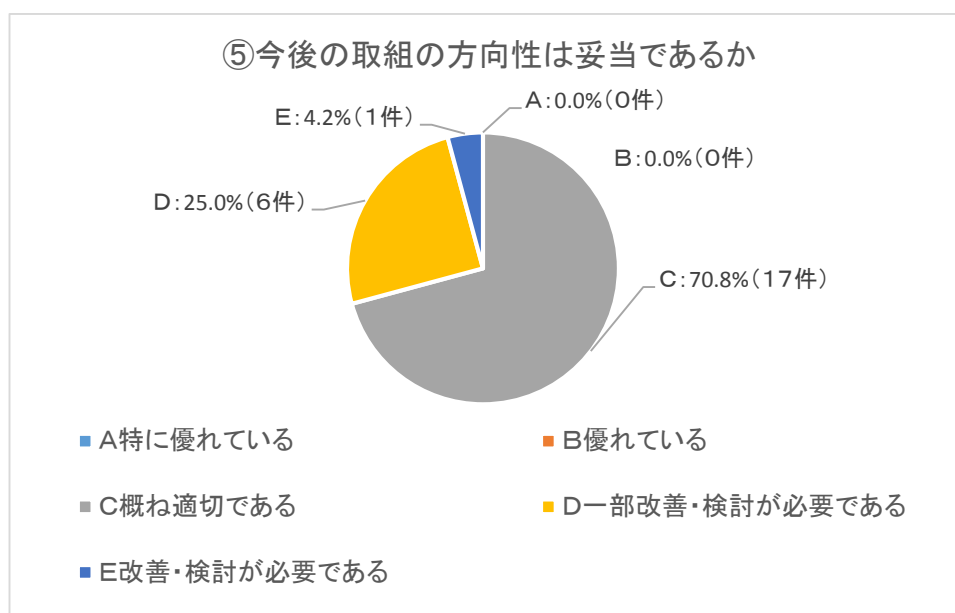
(単位：単位施策数)

⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか

全体24件中17件（71%）については、5段階評価の結果が「優れている、概ね適切である」となり、今後の取組の方向性については、妥当である、概ね妥当である評価結果となりました。

改善・検討が必要、一部改善・検討が必要となった単位施策については、具体的な内容等がわかりにくいため、ビジョンを明確にし、課題を洗い出し、今後の方向性を示す必要がある検証結果となりました。

妥当である、概ね妥当である評価結果となった、単位施策についても、課題認識に対する具体的な記載に努めることや、方向性について明確な表記に努める必要があります。



5段階評価結果の分布

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	3	5	1
書面評価	0	0	14	1	0

(単位：単位施策数)

## ⑥ その他

その他として、検証委員会での審議の結果、24件中9件（38％）の単位施策について意見がありました。

単位施策に対する市の独自取組への期待や市民の側に立った事業を展開する工夫、効果的な事業の展開を期待する内容の意見がありました。

シートの記載方法について、表現の方法や市民がわかりやすい表記に努める必要があります。

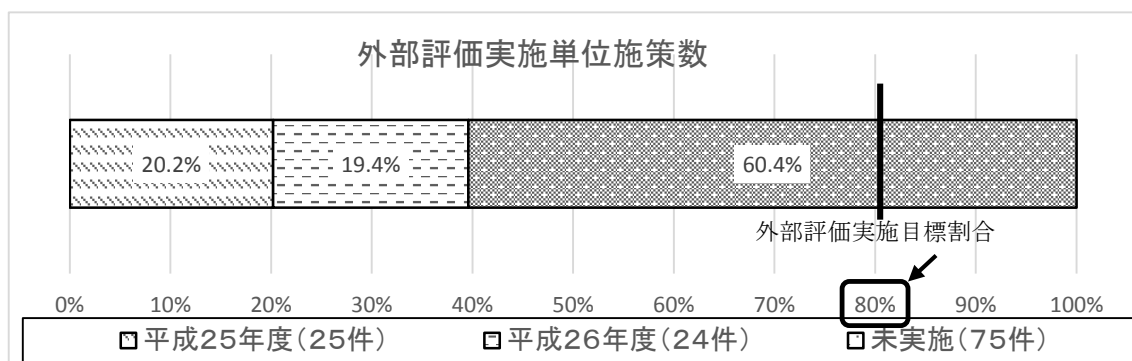
単位施策の目的と単位施策名、構成事務事業の整合性について、次期計画策定時での見直し、検討が必要です。

## 4 2年間の行財政経営計画検証委員会を振り返って

### (1) 外部評価の進捗状況

#### ① 外部評価実施単位施策数

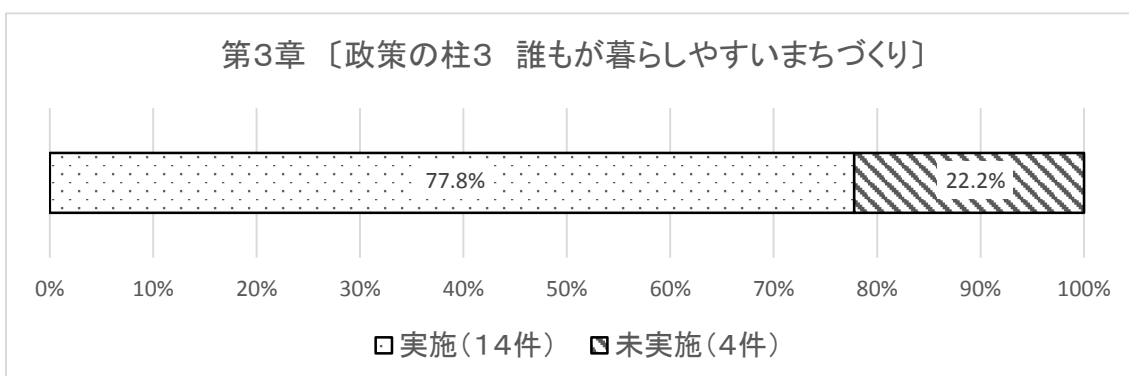
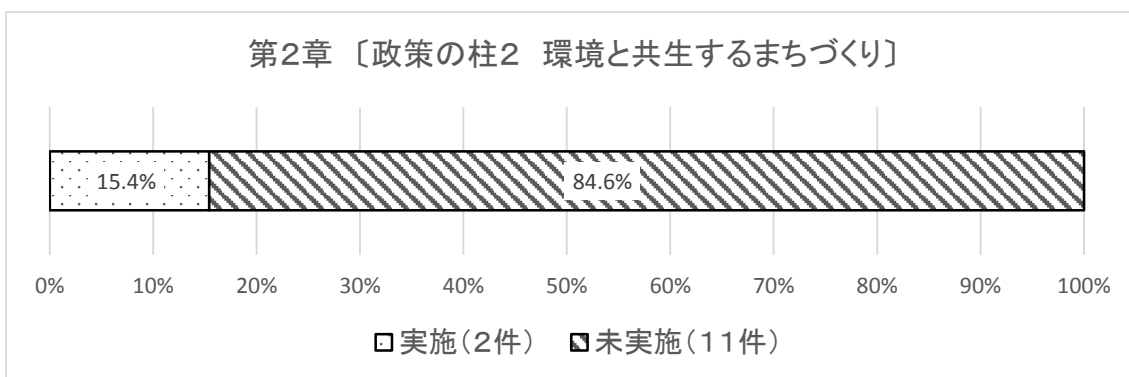
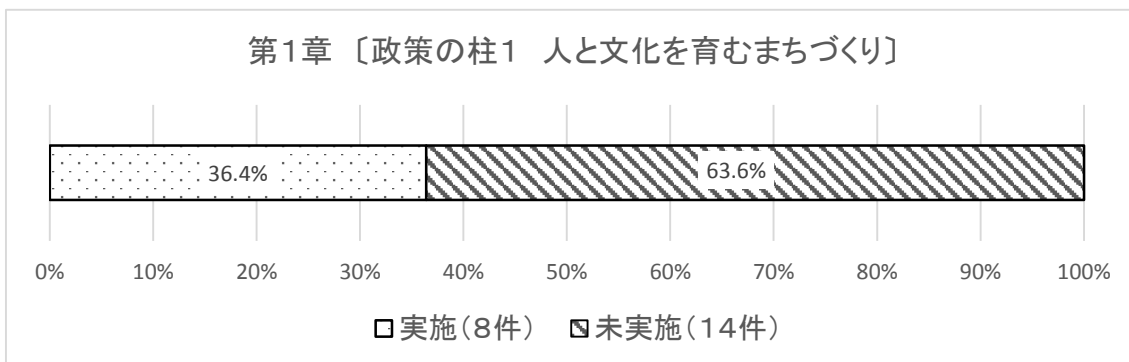
評価対象は、試行期間中に、124 単位施策のうち試行期間中に 100 単位施策程度を目標とし、2年間の評価数は、ヒアリング評価が15 単位施策、書面審査による評価が34 単位施策で目標の100 単位施策のうち約50%が完了しています。



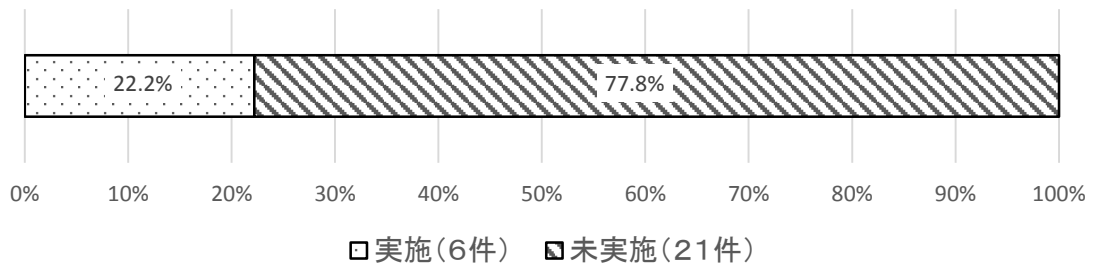


② 「政策の柱」及び「構想の推進のために」別評価実施実績

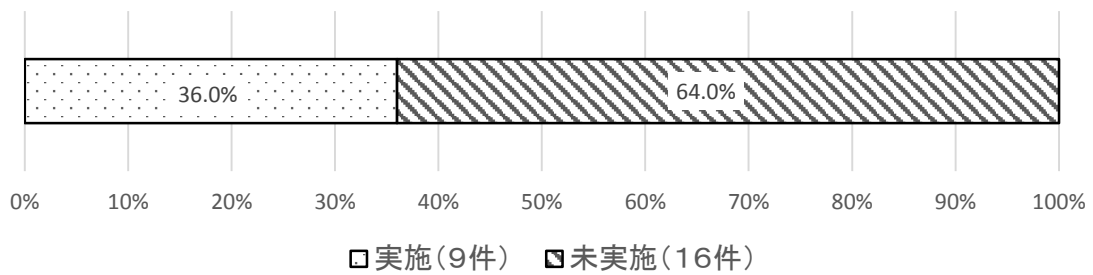
「政策・テーマ」ごとの単位施策外部評価実施状況については、政策ごとで実施件数にばらつきが見られます。政策の柱2「環境と共生するまちづくり」については、2件の評価となっています。政策の柱3「誰もが暮らしやすいまちづくり」については、2年間でほぼ目標どおりの検証実績となっています。



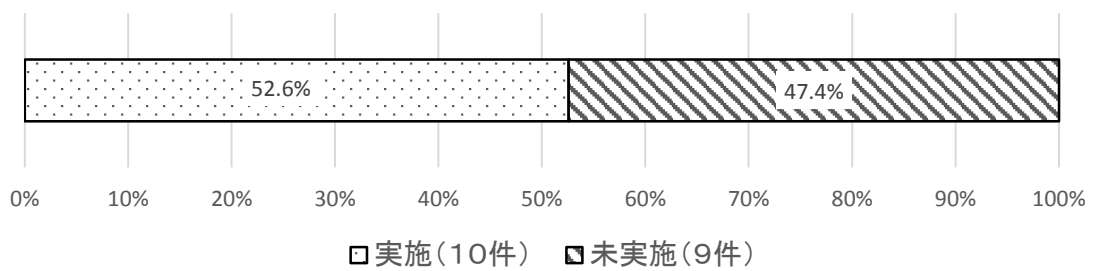
第4章 「政策の柱4 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり」



第5章 「政策の柱5 安全で安心できるまちづくり」



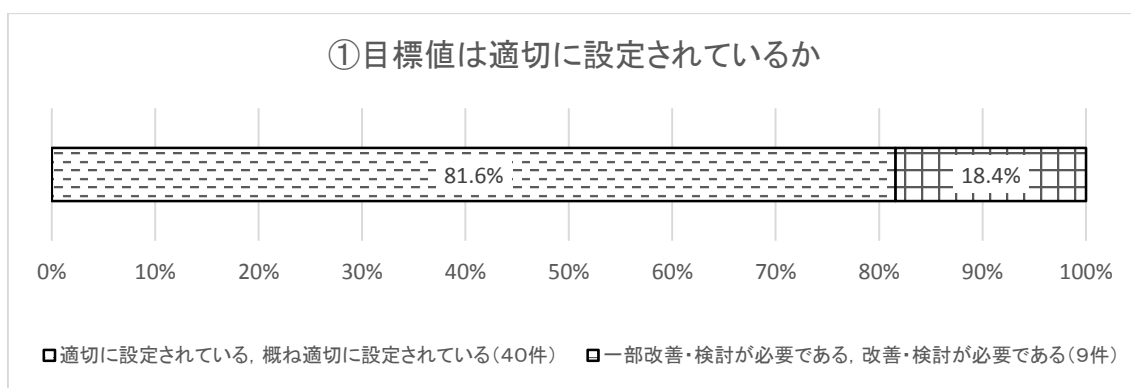
第6章 「構想の推進のために」



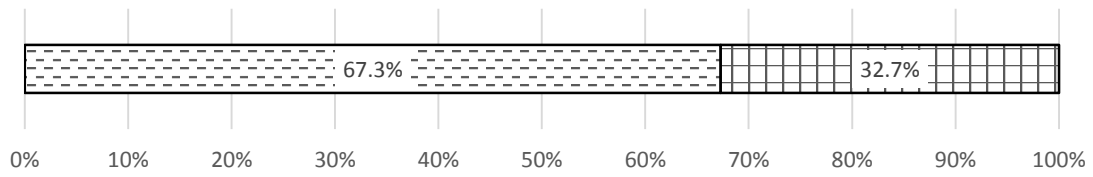
### ③ 外部評価の視点別評価実績

外部評価の視点別評価の実績ですが、検証委員会報告書にある外部評価を行った単位施策の評価結果を「適切であるものとそうでないもの」に大きく2つの共通項目に分類し、平成26年度と平成25年度の件数を集計した結果についてまとめました。

- 平成26年度 5段階評価を基本とし、「3 外部評価の結果について」の総括で報告のある「優れている、概ね適切である」件数を集計し、それぞれの評価の視点について「適切に設定されている、概ね適切に設定されている」、「計画どおり、概ね計画どおり」、「妥当である、概ね妥当である」となった件数を集計しています。他方の「改善・検討が必要、一部改善・検討が必要」となった結果も同様の扱いとし、集計しています。
- 平成25年度 平成25年度は5段階評価を実施していませんが、外部評価結果にある検証結果の総括で報告されている件数を集計し、「適切に設定されている、概ね適切に設定されている」、「計画どおり、概ね計画どおり」、「妥当である、概ね妥当である」となった件数を集計しています。「そうでないもの」についても同様に集計しています。

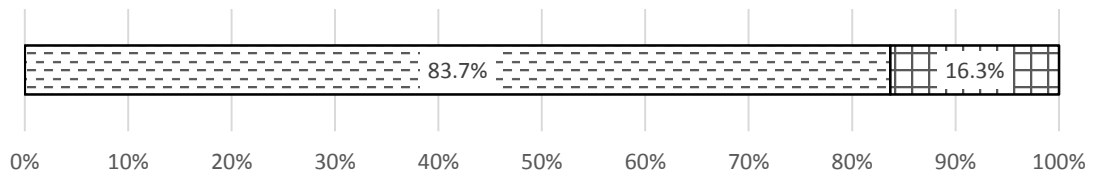


### ② 施策が計画どおり進捗しているか



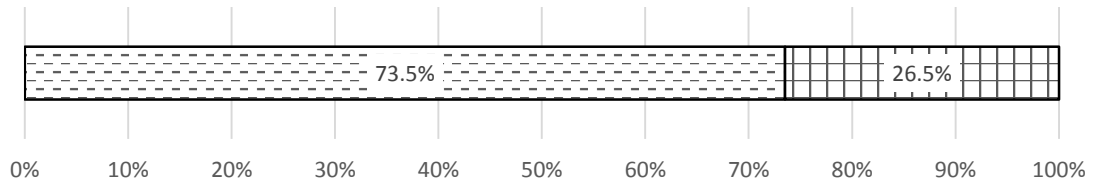
□ 計画どおり, 概ね計画どおり(33件) □ 一部改善・検討が必要である, 改善・検討が必要である(16件)

### ③ 総合評価は妥当であるか



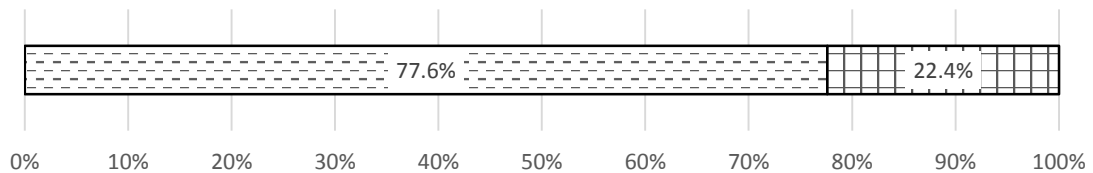
□ 妥当である, 概ね妥当である(41件) □ 一部改善・検討が必要である, 改善・検討が必要である(8件)

### ④ 課題認識は妥当であるか



□ 妥当である, 概ね妥当である(36件) □ 一部改善・検討が必要である, 改善・検討が必要である(13件)

### ⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか



□ 妥当である, 概ね妥当である(38件) □ 一部改善・検討が必要である, 改善・検討が必要である(11件)

## (2) これまでの評価を終えて

- ① ヒアリング評価については、対象となった施策の評価に限定することなく、担当課との意見交換の場として、新たな気づきも生まれ意義あるものとなっています。
- ② 単位施策評価シートの記述にあっては、評価結果及び意見等を踏まえ適切かつ詳細な記述の必要があります。
- ③ 外部評価によるチェック機能は、目標実現に向けての適切な進行管理の検証として必要な取組です。
- ④ 効率的かつ円滑な委員会とするためにも、委員と被評価者（該当所属）との情報共有（意見回答、見解等）について、迅速かつ正確に行っていく必要があります。
- ⑤ 計画の進行管理を図るうえで、成果指標の設定は重要であることから、次期計画で成果指標を設定する際には設定基準を明確にし、庁内で考え方を共有するべきです。
- ⑥ 外部評価の導入効果は高く、あわせて連動した PDCA 機能（トータルマネジメントシステム）の構築が必要です。

## 5 平成27年度に向けて

当検証委員会の評価結果が、次期計画の策定にあたり、行政評価のあり方、手法、指標の設定基準など見直し対象とし、十分議論を行い、市民にとってわかりやすい評価内容となることや、業務の改善に直結する最適なPDCAサイクルを実現するマネジメントツールとなるよう期待するとともに、自治体経営のトータルマネジメントシステムの構築に向けて積極的に取り組んでいただきたい。

6 資料

①平成26年度行財政経営計画検証委員会 評価対象一覧

政策の柱	単位施策	主担当課名	単位施策名	評価方法
1	7	児童保育課	保育環境の充実	ヒアリング
1	13	教育支援課	人権教育の推進	書面評価
1	14	教育指導課	学校教育の支援・研究	ヒアリング
1	20	文化課	文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進	書面評価
2	23	廃棄物対策課	リサイクル施策の推進と資源化の促進	ヒアリング
2	25	開発整備課	循環型社会に向けた基盤整備	書面評価
3	38	長寿社会課	高齢者福祉の推進	ヒアリング
3	40	住宅課	住生活基本計画の推進	ヒアリング
3	44	健康づくり課	健康づくりの啓発の推進	書面評価
3	48	健康づくり課	医療体制の充実	ヒアリング
3	50	人権政策課	人権・平和意識の高揚	書面評価
3	52	市民対話課	外国人市民との地域共生と異文化理解の推進	書面評価
3	55	商業観光課	公共交通の利便性向上	書面評価
4	59	市街地整備課	良好な住環境の創造・保全	書面評価
4	69	農林水産課	農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成	ヒアリング
5	83	河川雨水対策課	河川・排水路の整備推進	書面評価
5	87	防災危機管理課	避難所の整備	ヒアリング
5	96	予防課	火災予防対策	書面評価
5	104	産業政策課	安心できる消費生活の確保	書面評価
6	111	企画課	シティセールスの推進	ヒアリング
6	112	人事課	機動的な組織・体制の構築	書面評価
6	113	人事課	環境変化に対応できる人材育成	書面評価
6	114	納税課	自主財源の積極的な確保	書面評価
6	115	企画課	広域行政の推進	書面評価

②平成26年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	7	単位施策名	保育環境の充実		
主担当所属名	児童保育課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	未実施であるため、評価ができる状態でないと判断します。 子ども子育て支援新制度への移行などにより、建替えについての方針を再検討する必要性があり、適切な目標値が設定できない状況であれば、その旨を記載するよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	未実施であるため、施策の達成度を評価できる状態でないと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 建替えに至らなかった原因を分析し、明確に示すようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 「計画の策定に取り組む」ことは建替え以前の問題であり、なぜ建替えに至らなかったのかを明確に踏まえたうえで、課題を洗い出し記載してください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題を明確にし、目的に記載のある幼保一元化を踏まえ整理し、方向性を示してください。
【6】 その他	特になし。

単位施策コード	13	単位施策名	人権教育の推進		
主担当所属名	教育支援課		評価方法	書面評価	
関係所属名	教育指導課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、次期計画策定の際には、「子どもたちの人権感覚が高まり、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に寄与する意欲が高まっている。」という本来の目的がより明確となるような成果指標と目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。



単位施策コード	14	単位施策名	学校教育の支援・研究		
主担当所属名	教育指導課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	子ども家庭支援課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、次期計画策定の際には「受講率」など、確実に施策の成果が把握できるような指標の設定を検討してください。 また、ベンチマークを行うなど、目標値の設定根拠が、より明確となるよう今後努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体性に欠ける表現が見受けられますので、取り組んだ内容と結果を明確に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 受講率等を分析し明確に総合評価に表記することによって、新たな課題が見えてくると考えます。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題認識が明確でないことから、今後の方向性も明確でないため、鈴鹿市の課題を把握、分析し今後の取組の方向性を検討してください。
【6】 その他	特になし。

単位施策コード	20	単位施策名	文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進		
主担当所属名	文化課		評価方法	書面評価	
関係所属名	考古博物館				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	一部改善・検討が必要であると判断します。 来館者数は特殊要因等の影響を大きく受けることから、次期計画策定の際には、各施設で現状を踏まえた目標値を明確にし、単位施策に反映する等、より適切な目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対する実績値から見て、計画どおり進んでいるとは言えない状況であると考えます。 目標達成に向けて努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 本来の目的は、「文化財が、後世に伝えられるよう保護・保存されており、市民が文化財に親しんでいる。」であり、文化施設の集客が目的ではありません。 本来の目的が損なわれないよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	表現が課題認識ではなく、今後の方向性になっています。 また、財政上の制約があるのはどの施策も同じであり、事業の優先順位付け等における具体的な課題を洗い出し記載してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 具体的な内容が分かりにくいいため、ビジョンを明確にし、さらに課題を洗い出し、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	23	単位施策名	リサイクル施策の推進と資源化の促進		
主担当所属名	廃棄物対策課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	土木総務課	市街地整備課	建築指導課		

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね妥当であると考えます。 現在の指標及び目標値は、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に沿って設定しているとのことですが、目標値の設定根拠がより明確となるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っているが、概ね計画どおり進捗していると判断します。 資源化率が減少している原因を把握し、現在取り組んでいるとのことですので、引き続き目標値を上回ることができるように努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、スーパー等の回収は資源化に貢献していることから、できる限り数値を把握し、実績として組み込むよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 リサイクルに対する市民の意識は定着し、今までの取組の成果は出てきていることから、市民が新たな段階に取り組むことに対する課題を認識するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 市民が協力的に取り組むような事業のアイデアを出すなど、工夫した取組を今後は示してほしいと考えます。
【6】 その他	特になし。

単位施策コード	25	単位施策名	循環型社会に向けた基盤整備		
主担当所属名	開発整備課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね目標値を達成しているものと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	総合評価であるので、単位施策の実施内容及び実施結果を踏まえたうえでの、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、継続的に啓発活動をすることは大切ですが、今後は市民が実行するような手立てが必要であると考えます。 新たなステージへ向かうために課題を明確にするよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	妥当であると判断します。 引き続き、循環型社会が形成されるよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	38	単位施策名	高齢者福祉の推進		
主担当所属名	長寿社会課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、努力して達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 また、指標が「延べ利用者数(おむつ支給, ふとん丸洗い, 緊急通報システム)」となっていますが、各サービスのカウント方法が累計や実数となっており統一性がありません。 次期計画策定の際には、考慮した指標の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体性に欠ける表現が見受けられますので、明確に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 国の動向を注視することは大切なことですが、鈴鹿市の課題を把握、分析し独自の取り組みが必要であると考えます。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 鈴鹿市の課題を把握、分析し今後の取組の方向性を検討してください。
【6】 その他	現状を踏まえ、健康なお年寄りが増加するような鈴鹿市独自の取組を実施することを市民は期待しています。

単位施策コード	40	単位施策名	住生活基本計画の推進		
主担当所属名	住宅課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	一部改善・検討が必要であると判断します。 目標値は右肩上がりに設定すれば良いものではなく、緊急・優先入居を考慮し適切な目標値を設定することが望ましいと考えます。 また、平成24年度以降に成果指標の算出方法を変更したのであれば、その旨を記載するようにしてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っていますが、概ね計画どおり進捗していると判断します。 退去に伴う修繕等を考慮するとやむを得ないと考えます。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、最終目標値の98%について、目標値として不適切と判断しているのであれば、その旨を踏まえたうえで総合評価として記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、市営住宅はどうあるべきか、住宅確保要配慮者が誰か、施策の目的を踏まえて課題認識をするよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、目的に対する方向性が示されていないため、記載するよう努めてください。
【6】 その他	特になし。

単位施策コード	44	単位施策名	健康づくりの啓発の推進		
主担当所属名	健康づくり課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、総合評価であるため、どのような取組を行って、どのような結果であったか具体的に記述するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、目標値を達成するための取組を具体的に記載するよう努めてください。
【6】 その他	単位施策の目的、単位施策名、構成事務事業が合致しておらず、目的達成のための課題認識や取組の方向性が分かりにくいのではないかと考えます。 次期計画策定の際には、単位施策、構成事務事業、成果指標の設定などを見直すことも検討してください。

単位施策コード	48	単位施策名	医療体制の充実		
主担当所属名	健康づくり課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、担当課として受診者数を増加させたいのか減少させたいのか意思が伝わってこないため、次期計画策定の際には、意思が明確になるような指標の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。 目標値に対し実績が下回っていますが、救急医療体制の現状を考慮するとやむを得ないと考えます。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 評価内容が漠然としており、具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。 目標数値に合致する内容となるよう記載してください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題認識が漠然としており、具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 具体的な内容が分かりにくいいため、医療体制の目標とするビジョンを明確にし、さらに課題を洗い出し、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	「切迫している」課題があるということを市民が感じるような周知方法を工夫し、医療体制について考えてもらうよう検討してください。



単位施策コード	50	単位施策名	人権・平和意識の高揚		
主担当所属名	人権政策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、毎年目標値が同じであり、この数値が適切であるか判断できないことから、目標値の設定根拠が明確となるよう今後努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画どおり進捗していると考えます。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識が具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、文頭に「既存の各種啓発事業を継続して実施していくに当たり」とありますが、事業の継続だけでなく、事務事業評価の結果を踏まえて、新規事業、統合、廃止等事業の選択をするよう努めてください。
【6】 その他	この単位施策は成果が目に見えるような性質ではなく、結果を求めるような事業の推進は難しいと考えますが、前例踏襲ではなく新しい事業も検討するよう努めてください。

単位施策コード	52	単位施策名	外国人市民との地域共生と異文化理解の推進		
主担当所属名	市民対話課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 次期計画策定の際にはより適切な成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画どおり進捗していると考えます。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体性に欠ける表現が見受けられますので、明確に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識の内容を踏まえ、それらを解決するような取組を今後の方向性についても記載するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	55	単位施策名	公共交通の利便性向上		
主担当所属名	商業観光課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、次期計画策定の際には、より施策の進捗状況を表す指標と目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、構成事務事業に関する内容も記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね適切であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	今後の取組として、利用促進を図り運賃収入の確保・増収を図ることや新たな国補助制度について調査研究を進める方向性は妥当であると考えます。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	59	単位施策名	良好な住環境の創造・保全		
主担当所属名	市街地整備課		評価方法	書面評価	
関係所属名	建築指導課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね妥当であると判断します。 ただし、単位施策を構成する事業が1事業しかない状態であるため、次期計画策定の際には取組内容を検討し、適切な成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断しますが、目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と考えます。 目標達成に向け努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 目標達成に向け努力してください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、白江土地区画整理組合との連携の中で認識された課題を具体的に記載するようにしてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識の内容を踏まえ、それらを解決するような取組を今後の方向性についても記載するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	69	単位施策名	農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成		
主担当所属名	農林水産課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、次期計画策定の際には、ベンチマークを行うなど、目標値の設定根拠が、より明確となるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	平成22年度から目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 今後は環境変化を意識し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	内容が明確でないことから、改善・検討が必要であると判断します。 取組実績の結果を分析し、その内容を総合評価として詳細に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	内容が明確でないことから、改善・検討が必要であると判断します。 認定農業者数が毎年減少している現状を踏まえ、課題を詳細に把握、分析するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	内容が明確でないことから、改善・検討が必要であると判断します。 農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成の目標とするビジョンを明確にし、さらに課題を洗い出し、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	全体的に記載が明確ではありません。 市民が評価シートを見て、理解ができるような記載に努めてください。

単位施策コード	83	単位施策名	河川・排水路の整備推進		
主担当所属名	河川雨水対策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、目標値の設定根拠が、より明確となるよう今後努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識が具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識の内容を踏まえ、それらを解決するような取組を今後の方向性についても記載するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	87	単位施策名	避難所の整備		
主担当所属名	防災危機管理課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると考えます。 次期計画策定の際には、整備の内容が充分であるか検証を行い、指標の設定をするよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画どおり進捗していると考えます。 引き続き、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、マンホールトイレに特化した内容であるため、構成事務事業の執行結果を踏まえ、他の取組についても記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、課題認識が漠然としており、具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、マンホールトイレ以外の区域の対応や内容が地震に特化していることから、台風等、ほかの災害の方向性についても記載するよう努めてください。
【6】 その他	目的であるが、「支障なく」という表現よりは「必要最低限」という記載を目的とするほうがわかりやすいと考えます。

単位施策コード	96	単位施策名	火災予防対策		
主担当所属名	予防課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、成果指標としている住宅用火災警報器の設置率は、個人の申告によって数値を把握するということが、数値が確実に把握できる成果指標が望ましいと考えます。 次期計画策定の際には確実に事業の進捗状況が把握できるような成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね目標値を達成しているものと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、消防法が改正された平成18年から平成20年の義務化までの間は設置率は大幅に上昇していますが、義務化以降は設置率はほぼ横ばいという現状であるため、原因を分析し、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、総合評価で述べたように近年の設置率はほぼ横ばいであることから、原因を分析し課題を洗い出してください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識の欄では「高齢者に伴う一人暮らしの老人宅等への設置推進が課題」とありますが、今後の方向性ではそれに対応する方向性が記載されていないため、課題に対応した具体的な内容を記載するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。



単位施策コード	104	単位施策名	安心できる消費生活の確保		
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、相談件数が増加することを目標としているのか、減少することを目標としているのか、目標値設定の考え方を分かりやすくするよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 今後も、事例等をPRし、トラブルの迅速な解決に繋げていけるよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	ニュース等で、近年は詐欺の手口が巧妙化し、新たな手口もどんどん出てきていると報道されており、消費者の視点からすると、被害に遭わないよう適宜情報を入手したいと考えます。 関係機関と連携し、少しでも被害が減少するよう取組を推進してください。

単位施策コード	111	単位施策名	シティセールスの推進		
主担当所属名	企画課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、ホームページへのアクセス数は外部要因を大きく受けることから、次期計画策定の際には、より成果を把握できる指標の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、執行内容に対する結果が明確でないため、今後は総合評価として記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 市職員の意識改革だけでなく、市内外への活動の視点も検討し、さらに、洗い出された課題を記載するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 鈴鹿市の課題を把握、分析し今後の具体的な取組の方向性を検討してください。
【6】 その他	特になし。

単位施策コード	112	単位施策名	機動的な組織・体制の構築		
主担当所属名	人事課		評価方法	書面評価	
関係所属名	防災危機管理課	企画課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、数年先の業務量を見通し、目標値を設定することは非常に困難と考えます。 次期計画策定の際には、より適切な成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対する実績値から見て、計画どおり進んでいるとは言えない状況にあります。 目標達成に向けて努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、「権限委譲等により業務量増加や複雑化する行政需要に対応する」と記載がありますが、平成24年に施行された「まちづくり基本条例」では住民自治や協働を基本理念としており、このことも踏まえたうえで課題の洗い出しに努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 今後も、行政を取巻く状況を把握し、課題を洗い出し、それらを解決するような取組を検討し、方向性として記載してください。
【6】 その他	平成26年度の組織改革で、河川事業と下水道の雨水事業の統合、汚水対策事業を下水道事業に統合したことは、政策・施策を中心とした組織づくりに合致することであり、効果的な人員及び財源の削減であったと考えます。 今後もこのような取組を実施し、効果的、効率的な人員配置に努めてください。

単位施策コード	113	単位施策名	環境の変化に対応できる人材育成		
主担当所属名	人事課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、現在は全体の平均値を目標値としていますが、基準の数値を決め、その数値を〇%以上にする等とした方が今後の方向性等を検討する際の参考資料として、より効果的なものになるのではないかと考えます。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね目標値を達成しているものと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	114	単位施策名	自主財源の積極的な確保		
主担当所属名	納税課		評価方法	書面評価	
関係所属名	市民税課	資産税課	秘書広報課		

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切に設定されていると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体性に欠ける表現が見受けられますので、明確に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 今後も積極的に自主財源の確保に努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	115	単位施策名	広域行政の推進		
主担当所属名	企画課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	妥当であると判断します。
【6】 その他	情報交換、情報共有は必要であると考えますが、その場の活動内容や必要性を検証し、発展や縮小を検討し、より効果的なものとなるよう努めてください。

# 第1章 人と文化を育むまちづくり

## 政策-1 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります

### 施策-1 生涯学習の推進

単位施策	担当課
1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成活動の支援	生涯学習課
2 地域における学習活動の推進	生涯学習課

### 施策-2 学びの場の充実

3 図書館サービスの充実	図書館
4 高等教育機関との連携	企画課

### 施策-3 子どもを育てやすい環境づくり

5 生み育てやすい地域社会づくり	児童保育課 子ども家庭支援課
6 子育て家庭への支援	児童保育課 子ども家庭支援課
7 保育環境の充実	児童保育課

### 施策-4 子どもの教育の充実

8 子どもの教育環境の充実	教育総務課
9 就学前教育の充実	教育総務課 学校教育課
10 学校教育の充実	学校教育課 教育支援課 教育総務課
11 学校教育を支える地域社会づくり	教育支援課
12 確かな学力づくり	教育指導課
13 人権教育の推進	教育支援課 教育指導課
14 学校教育の支援・研究	教育指導課 子ども家庭支援課
15 教育相談の充実	教育支援課 子ども家庭支援課

### 施策-5 生涯スポーツの推進

16 市民参加型スポーツの推進	スポーツ課
17 快適に利用できる運動施設の整備・運営	スポーツ課

### 施策-6 みんなでまもり、育てる青少年の健全育成

18 子どもの安全安心ネットワークの充実	教育支援課
19 青少年の健全育成	教育支援課

## 政策-2 魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます

### 施策-7 文化財の保護・保存・継承・活用

20 文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進	文化課 考古博物館
---------------------------	--------------

### 施策-8 文化活動の促進

21 市民参加型文化事業の推進	総務課 文化課
22 文化的施設の整備・運営	文化課

## 第2章 環境と共生するまちづくり

### 政策-3 環境への負荷の少ない循環型社会を進めます

#### 施策-9 ごみの減量活動の推進

単位施策	担当課
23 リサイクル施策の推進と資源化の促進	廃棄物対策課 土木総務課 市街地整備課 建築指導課
24 廃棄物の適正処理による健全な環境の確保	廃棄物対策課 開発整備課 清掃センター クリーンセンター
25 循環型社会に向けた基盤整備	開発整備課

### 政策-4 自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します

#### 施策-10 地球温暖化防止活動の推進

26 新エネルギーの導入促進	環境政策課
27 地球温暖化対策実行計画の推進	環境政策課 建築指導課
28 地球温暖化防止啓発活動の推進	環境政策課

#### 施策-11 適正な水環境の保全

29 自然環境の保全	環境政策課
30 緑化施策の推進	市街地整備課 道路保全課

#### 施策-12 生活排水対策の推進

31 農業集落排水の整備	下水建設課 下水維持課
32 合併処理浄化槽の設置促進	下水総務課
33 公共下水道（污水）の整備	下水建設課 下水総務課 下水維持課

#### 施策-13 良好な生活環境の確保

34 環境美化及び公衆衛生の向上	環境政策課
35 生活環境を守る取組	環境政策課



# 第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり

## 政策-5 みんなで支えあう福祉のまちをつくりまします

### 施策-14 福祉サービスの充実

単位施策	担当課
36 障がい者福祉の推進	障害福祉課 建築指導課
37 生活保障の確保	保護課 福祉総務課 保険年金課
38 高齢者福祉の推進	長寿社会課
39 介護保険の推進	長寿社会課
40 住生活基本計画の推進	住宅課
41 地域福祉活動の推進	福祉総務課

### 施策-15 労働環境の充実

42 働く場の確保と就労支援	産業政策課
43 勤労者福祉の促進	産業政策課

## 政策-6 いつも健康で暮らせるまちにします

### 施策-16 健康づくりの推進

44 健康づくりの啓発の推進	健康づくり課
45 健康診査の推進	健康づくり課 保険年金課

### 施策-17 医療体制・制度の充実

46 国民健康保険の適正な執行	保険年金課
47 医療費助成による生活の安定	保険年金課
48 医療体制の充実	健康づくり課

## 政策-7 一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします

### 施策-17 平等で平和な社会の実現

49 子どもの人権の保障	教育支援課
50 人権・平和意識の高揚	人権政策課
51 人権啓発・福祉・交流の総合的な取り組みの推進	人権政策課

### 施策-18 共生社会の実現

52 外国人市民との地域共生と異文化理解の推進	市民対話課
-------------------------	-------

### 施策-19 男女共同参画社会の実現

53 男女共同参画の総合的な取組の推進	男女共同参画課 子ども家庭支援課
---------------------	---------------------

# 第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり

## 政策-8 人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります

### 施策-21 人・物がスムーズに行き交う交通網の充実

単位施策	担当課
54 幹線道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 市街地整備課
55 公共交通の利便性向上	商業観光課
56 国・県の道路事業促進	土木総務課 道路用地課

### 施策-22 経済活動が活発化する市街地の創造

57 中心市街地と商業の活性化	商業観光課
-----------------	-------

### 施策-23 情報通信インフラの活用と次世代への対応

58 ユビキタスネット社会への対応	市政情報課
-------------------	-------

## 政策-9 地域の個性と暮らしの利便性を高めます

### 施策-24 生活の快適性・利便性の向上

59 良好な住環境の創造・保全	市街地整備課 建築指導課
60 住居表示の推進	地域課
61 地籍調査の推進	土木総務課

### 施策-25 景観に配慮しつつ個性を活かした計画的なまちづくり

62 美しい街並みや景観の創造と保全	都市計画課
63 計画的な土地利用の誘導	都市計画課

## 政策-10 地域経済を支える豊かな産業を活かします

### 施策-26 蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上

64 地元農水産物の消費拡大の推進	農林水産課
65 中小企業の高度化・高付加価値化の促進	産業政策課

### 施策-27 持続的で安定した経営基盤づくり

66 中小企業の経営健全化促進	商業観光課
67 商店街の活性化促進	商業観光課
68 地域農業と経営基盤づくり	農業委員会事務局
69 農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成	農林水産課
70 農林水産業経営支援の促進	農林水産課
71 農業生産基盤の整備推進	耕地課
72 多面的機能が発揮できる生産環境づくり	農林水産課
73 市内特産品の販路拡大の促進	商業観光課

政策-11 新たな活力を生み出す産業を振興します

施策-28 新ビジネスの創造と産業の振興

単位施策		担当課
74	新商品の開発の促進	産業政策課
75	進出意欲を持つ企業の立地促進	産業政策課
76	地場産業の需要開拓の促進	産業政策課
77	新産業の集積の促進	産業政策課
78	産学官の連携による研究開発と人材育成	産業政策課

施策-29 豊かな自然と観光資源の活用

79	観光資源の充実	商業観光課
80	モータースポーツの振興の促進	商業観光課

# 第5章 安全で安心できるまちづくり

## 政策-12 災害に強いまちづくりを推進します

### 施策-30 防災対策の推進

単位施策		担当課
81	防災体制の充実	防災危機管理課 福祉総務課 消防課
82	市民の防災力強化	防災危機管理課

### 施策-31 浸水・治水対策の推進

83	河川・排水路の整備推進	河川雨水対策課
84	河川等の維持管理	河川雨水対策課
85	都市浸水対策	河川雨水対策課

### 施策-32 地震災害対策の推進

86	建築物等の耐震化促進	防災危機管理課 建築指導課
87	避難所の整備	防災危機管理課

## 政策-13 安全なまちをめざします

### 施策-33 消防力の強化

88	地域消防力の整備充実	消防総務課 消防課
89	消防体制の充実強化	消防課 消防総務課 情報指令課

### 施策-34 交通安全対策の推進

90	交通安全意識の高揚	防災危機管理課
91	生活道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 建築指導課
92	交通安全施設の整備推進	道路保全課
93	市道の維持管理	道路保全課 土木総務課

### 施策-35 建築物の安全性確保

94	安全で良質な建築物の確保	建築指導課
----	--------------	-------

## 政策-14 安心できる市民生活を確保します

### 施策-36 防火・防犯対策の推進

95	防犯意識の高揚	防災危機管理課
96	火災予防対策	予防課

### 施策-36 救急・救命対策の推進

97	救急業務高度化の推進	消防課
98	応急手当の普及	消防課

施策-38 上水道の安定供給

単位施策	担当課
99 企業性を重視した水道事業の経営	水道総務課
100 水道料金に関する事務の効率化	営業課
101 水道施設の整備・更新	工務課
102 需要者ニーズを踏まえたサービスの充実	工務課 営業課
103 水道施設の維持管理	工務課 水源課

施策-39 相談機能の拡充

104 安心できる消費生活の確保	産業政策課
105 市民相談窓口の充実	市民対話課

# 第6章 構想の推進のために

## 主要テーマ1 市民みんなで取り組むまちづくりをめざします

### 施策-40 市民参加が活発なまちづくり

単位施策	担当課
106 市民の参加のまちづくりの推進	地域課 各課
107 市民参加の活動環境の充実	地域課

### 施策-41 市民との情報共有の推進

108 市民への情報提供の推進	秘書広報課 市政情報課 各課
109 市民の声の的確な把握	秘書広報課 市民対話課 各課

## 主要テーマ2 時代の変化に対応した行政経営をめざします

### 施策-42 自治力の強化

110 国・県との連携	企画課 総務課 各課
111 シティセールスの推進	企画課 各課
112 機動的な組織・体制の構築	人事課 企画課 各課
113 環境の変化に対応できる人材育成	人事課 総務課
114 自主財源の積極的な確保	納税課 市民税課 資産税課 秘書広報課 各課

### 施策-43 効果・効率的な行政経営

115 広域行政の推進	企画課 各課
116 総合的・計画的行政の推進	企画課 総務課 各課
117 民間活力の導入	企画課 総務課 各課
118 事務の効率化と行政コストの削減	総務課 市政情報課 各課
119 計画的・効率的な財政運営	財政課

### 施策-44 適正な事務運営

120 法令等に基づく事務の推進	市民税課 資産税課 総務課 契約調達課 市民課 会計課 選挙管理委員会事務局 各課
121 監査・検査機能の充実	監査委員事務局 工事検査課 会計課
122 適正な資産管理	管財営繕課 会計課 各課
123 情報資産の適正管理と共有	市政情報課 各課
124 働きやすい職場環境の充実	人事課 公平委員会

④ 単位施策評価シート  
 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 7		保育環境の充実								10頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名			
		保健福祉部児童保育課長		森川 洋行							
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり									1頁
	政策	政策1: 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります									1頁
	施策	施策03: 子どもを育てやすい環境づくり (保健福祉部)									7頁
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■子育て家庭への支援 (保健福祉部)									
4 目的		適正規模の定員を確保するため、幼保一元化も図りつつ、老朽化が著しい公立保育所施設の合理的整備が行われている。									
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	建て替え済みの公立保育所数							単位	園	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)			
	目標値			1	1	1	2	2			
	実績値	未実施	1	-	-	-	-				
指標設定背景・根拠	建て替えを行うことによって、安心・安全で快適に過ごせる保育施設の確保につながる。										
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位: 千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	3,475,915	3,504,479	3,907,400	3,616,690	4,024,283	-	-	-	
		概算人件費	9,200	9,200	9,200	9,200	10,000	-	-	-	
	②現状を維持します	合計コスト	3,485,115	3,513,679	3,916,600	3,625,890	4,034,283	-	-	-	
	(内)一般財源	1,121,337	1,151,320	1,351,875	1,128,359	1,382,234	-	-	-		
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		行財政改革アクションプランの改革事項として掲げており、平成25年9月に教育委員会が策定した「鈴鹿市立幼稚園再編整備計画」も考慮し、公立保育所の建替を検討していたが、整備計画の策定には至らなかった。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		「鈴鹿市子ども・子育て会議」を設置し、関係事務に係る意見聴取を行いながら、平成27年4月から施行される「子ども・子育て支援新制度」に向け、幼保一元化を視野に入れた公立保育所整備計画案の策定に取り組む必要がある。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		子ども子育て支援新制度においては、保育の総合的なサービス提供が求められており、潜在的な市民ニーズを的確に把握した上で、子ども・子育て支援事業計画を策定し、この計画に即した公立保育所整備を実施していく。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	007001	認可外保育施設運営費補助事業				児童保育課	非該当	関連無し	休日開所施設数			箇所		
	23実績	140	9,249	400	9,649	6,856	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	5	11,961	400	12,361	8,788	→	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	4	6,894	400	7,294	7,219									
	25計画	4	8,292	400	8,692	8,452	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	2	7,032	400	7,432	7,352									
	26計画	4	8,646	400	9,046	8,810	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	継続 1号	007002	私立保育所運営費補助事業				児童保育課	非該当	関連無し	保育園充足率			%		
	23実績	103	2,909,213	3,200	2,912,413	842,097	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	2,905,076	3,200	2,908,276	863,620	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	103	2,923,746	3,200	2,926,946	875,000									
	25計画	100	3,019,151	3,200	3,022,351	977,178	→	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	103	2,977,768	3,200	2,980,968	799,864									
	26計画	100	3,101,543	3,200	3,104,743	921,807	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3	継続 1号	007003	公立保育所運営事業				児童保育課	非該当	関連無し	保育所充足率			%		
	23実績	91.6	497,123	4,000	501,123	238,144	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	499,571	4,000	503,571	226,952	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	95.7	514,857	4,000	518,857	247,449									
	25計画	100	508,771	4,000	512,771	240,511	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	96.7	569,157	4,000	573,157	298,245									
	26計画	100	604,370	4,000	608,370	339,571	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4	継続 1号	007004	私立保育所施設整備費補助				児童保育課	非該当	関連無し	施設整備率			%		
	23実績	4	277,220	800	278,020	93,206	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	100	58,395	800	59,195	20,265	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	100	58,395	800	59,195	20,265									
	25計画	100	370,577	800	371,377	124,325	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	5
	25実績	50	62,152	800	62,952	21,517									
	26計画	100	300,116	800	300,916	100,838	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5	継続 1号	007005	保育所扶養義務者負担金自主納付勧奨事業				児童保育課	非該当	関連無し	保育料納付率			%		
	23実績	97.5	572	800	1,372	1,372	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	98.3	912	800	1,712	1,712	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	98.2	587	800	1,387	1,387									
	25計画	98.3	609	800	1,409	1,409	↑	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	98.3	581	800	1,381	1,381									
	26計画	98.4	608	800	1,408	1,408	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績														
	27計画														
	27実績														



新規 2号	007006 公立保育所遊具整備					児童保育課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	—		—		
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
6	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26計画	—	9,000	800	9,800	9,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
	27計画														
27実績															
7	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 13		人権教育の推進							17頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		教育委員会事務局教育支援課長		木村 元彦		教育委員会事務局教育指導課長		高藤 富子		
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1: 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策04: 子どもの教育の充実 (教育委員会事務局)							11頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■学校施設等の計画的な整備 (教育委員会事務局) ■学力保障の推進 (教育委員会事務局) ■キャリア教育の充実 (教育委員会事務局) ■多文化共生教育の推進 (教育委員会事務局) ■特別支援教育の推進 (教育委員会事務局) ■地域ぐるみ教育環境づくり (教育委員会事務局)								
4 目的		子どもたちの人権感覚が高まり、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に寄与する意欲が高まっている。								
5 目的の達成状況 (成果指標)	指標名	外国人生徒の高等学校進学率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標 (H27)		
	目標値			98	98	98	98	98		
	実績値	95	100	97.7	91	-	-			
指標設定背景・根拠		外国人生徒の高等学校進学率の向上は、一人ひとりの子どもの人権が保障される多文化共生社会の実現につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位: 千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	59,736	56,824	59,477	55,185	59,715	-	-	-
		概算人件費	13,200	13,600	20,000	19,600	20,000	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	72,936	70,424	79,477	74,785	79,715	-	-	-
	(内)一般財源	47,021	47,262	45,555	50,077	59,546	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況, 目標の達成状況を踏まえて)		高等学校に進学した生徒の割合は91%で、平成24年度に比べ2%低下した。これは、就職や帰国による影響があり、目標値達成に向け進路支援に努めていく。高等学校に進学した生徒の内、外国人生徒の進路保障については、就学支援教室 (7ka7li) や各学校での国際教室等で教科学習につながる日本語指導の支援を行うとともに外国人生徒及び保護者を対象に進路ガイダンスを開催し、市内外9校の高等学校職員から直接高等学校への進学についての説明及び相談を行なう機会を設けるなどした。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望, 国・県の動向なども踏まえて)		外国人児童生徒への日本語指導の充実に向けては、学校教育法施行規則が一部改正され、平成26年4月1日から特別の教育課程による日本語指導が実施できるようになる等、国においても重要な課題とされている。しかし、外国人児童生徒の受入や就学支援に対する国等の支援は先行き不透明であり、児童生徒の多国籍化が進む中、外国人児童生徒の進路及び学力保障に携わる指導者の確保等多くの課題がある。また、鈴鹿市いじめ防止基本方針に基づきいじめの未然防止対策等の取組を進める必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		外国人児童生徒の進路及び学力保障に向けて、特別の教育課程による日本語指導の充実を図るため、第3期日本語教育支援システムに基づき、JSLバンドスケールを活用した日本語教育の充実、学習評価シートの作成、国際教室と在籍学級との授業の双方向の連携等に取り組む。特に、高等学校への進路保障に向け、早期から保護者を交えた対策を講じる。また、多国籍化への対応として、日本語指導ボランティア等の確保を検討する。さらに、各学校での実効性のあるいじめの問題への取組を推進する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位			
		成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源			作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性
1	継続 1号	013001 人権教育研究推進事業				教育支援課		非該当	関連無し	中学校区での公開授業の回数			回		
	23実績	10	330	4,000	4,330	4,330	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	10	300	3,200	3,500	3,500	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	43	300	2,800	3,100	3,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25計画	10	294	2,800	3,094	3,094	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	42	252	2,800	3,052	3,052	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	10	260	2,800	3,060	3,060	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
2	継続 1号	013002 人権教育研修会事業				教育支援課		非該当	関連無し	研修満足度			%		
	23実績	56	141	800	941	941	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	60	150	800	950	950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	88.3	150	800	950	950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25計画	90	150	800	950	950	→	↓	↓	↓	↓	統合	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	6
	25実績	94	30	400	430	430	→	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成26年度統合	—
	26計画	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成26年度統合	—
	26実績						↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成26年度統合	—
3	継続 1号	013003 子どもフォーラム推進事業				教育支援課		非該当	関連無し	人の気持ちがわかると答えた児童生徒数の割合			%		
	23実績	11	230	2,400	2,630	1,960	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	75	150	2,400	2,550	2,550	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	73.5	150	2,400	2,550	2,550	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	25計画	75	150	2,400	2,550	2,550	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	71.7	129	2,400	2,529	2,529	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26計画	75	150	2,400	2,550	2,550	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績						→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
4	継続 1号	013004 人権啓発事業				教育支援課		非該当	関連有り	人権学習で作文集やポスターを活用した学校数			校		
	23実績	39	360	1,600	1,960	1,960	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	40	655	400	1,055	1,055	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	8
	24実績	40	493	400	893	893	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	8
	25計画	40	520	400	920	920	→	→	↓	↓	↑	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	40	515	400	915	915	→	→	↓	↓	↑	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	26計画	40	445	400	845	845	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績						→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
5	継続 1号	013005 外国人児童生徒サポート事業（適応支援事業）				教育支援課		非該当	関連無し	外国籍生徒の進学率			%		
	23実績	100	5,669	800	6,469	6,469	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	95	30,000	800	30,800	30,800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	97.7	30,000	800	30,800	30,800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	96	30,320	8,000	38,320	38,320	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	91	26,791	8,000	34,791	34,791	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26計画	96	29,971	8,000	37,971	37,971	↑	→	→	↑	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26実績						↑	→	→	↑	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2

6	継続 1号	013006 外国人児童生徒サポート事業（受入促進事業）	教育支援課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	高等学校進学率			%			
	23実績	3234	7,930	1,600	9,530	9,530	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	95	10,201	800	11,001	4,166	→	→	→	→	↓	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	97.5	7,888	1,600	9,488	4,974	→	→	→	→	↓	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25計画	96	9,183	1,600	10,783	4,661	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	91	8,580	1,600	10,180	5,194	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	96	8,850	1,600	10,450	5,064	↑	→	→	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
7	継続 1号	013007 外国人児童生徒サポート事業（学習支援事業）	教育支援課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	日本語教育に係る研究授業の実施回数			回			
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	12	1,000	800	1,800	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	13	800	800	1,600	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25計画	14	1,000	800	1,800	-8,200	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	25実績	20	800	800	1,600	800	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	26計画	16	800	800	1,600	800	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	継続 1号	013008 外国人児童生徒サポート事業（就学支援事業）	教育支援課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	就学支援教室に登録している児童生徒の出席率			%			
	23実績	15	1,000	800	1,800	1,800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—
	24計画	50	16,000	800	16,800	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	52.3	15,803	800	16,603	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25計画	55	16,000	800	16,800	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	25実績	53.2	15,796	800	16,596	-34	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	26計画	55	13,607	800	14,407	763	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	継続 1号	013009 人権教育総合推進地域事業	教育支援課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	人権教育に係る授業研究の実施回数			回			
	23実績	11	1,035	800	1,835	1,835	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	15	1,035	1,600	2,635	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨25年度に他の事業と統合する	9
	24実績	9	1,000	1,600	2,600	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨25年度に他の事業と統合する	9
	25計画	15	1,000	1,600	2,600	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	25実績	30	1,342	1,600	2,942	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	26計画	15	858	1,600	2,458	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	継続 1号	013010 人権教育研究指定校事業	人権教育課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	研究授業を行った回数			回			
	23実績	6	245	1,600	1,845	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	6	245	1,600	1,845	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨25年度に他の事業と統合する	10
	24実績	6	240	1,600	1,840	1,595	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨25年度に他の事業と統合する	10
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度統合	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度統合	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26実績															
27計画															
27実績															

	継続 1号	013011 学びを保障するネットワークづくり事業					教育支援課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	子育て学習会へののべ参加者数		人	
		成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規						
11	23実績	—	—	—	1,845	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25計画	350	860	800	1,660	1,660	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度完了	
	25実績	300	950	800	1,750	800	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26計画	0	0	0	0	0	→	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	—	
	26実績														
	27計画														
27実績															
12	新規 1号	013012 いじめ防止対策推進事業					教育支援課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	「いじめをやめさせる行動をとる」と答えた児童生徒の割合		%	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間		事業
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	73	4,774	1,600	6,374	6,374	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績														
27計画															
27実績															
13	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
14	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
15	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 14		学校教育の支援・研究						18頁		
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		教育委員会事務局教育指導課長	高藤 富子		保健福祉部子ども家庭支援課長	瀬井 より子				
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり						1頁		
	政策	政策1:「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります						1頁		
	施策	施策04:子どもの教育の充実(教育委員会事務局)						11頁		
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■学校施設等の計画的な整備(教育委員会事務局) ■学力保障の推進(教育委員会事務局) ■キャリア教育の充実(教育委員会事務局) ■多文化共生教育の推進(教育委員会事務局) ■特別支援教育の推進(教育委員会事務局) ■地域ぐるみ教育環境づくり(教育委員会事務局)								
4 目的		教職員が今日的な課題に対応でき、適切に教育が行われている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	研修講座受講者数					単位	人		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			2400	2400	2450	2500	2500		
	実績値	2186	2364	2727	2806	-	-			
指標設定背景・根拠		研修講座受講者数の増加により、教職員の資質が向上し、教職員が今日的な課題に対応でき、適切な教育が行われることにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,864	1,853	989	989	4,264	-	-	-
		概算人件費	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	25,064	25,053	24,189	24,189	27,464	-	-	-
	(内)一般財源	24,914	24,903	24,189	24,189	27,464	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		教職員一人一人が教職経験年数や職域に応じた研修講座の開催は、参加人数の増加につながった。中間総合評価としては、設定した目標値を上回っており、達成状況にある。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		国の第2期教育振興基本計画(平成25年策定)の基本施策4において、教職生活の全体を通じて教員が学び続ける基盤の整備を図るなど、養成・採用・研修の一体的な改革を着実に進める「教員の資質能力の総合的な向上」が示されている。一方、本市においては、若手教職員の増加、学校における教育課題の多様化が課題となっている。さらに教職員の職務が多忙なため、研修講座に参加しにくい状況がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		教職員の経験年数や構成人数に応じた中長期的な研修、教育現場における今日的課題や今後の教育の動向を見据えた研修を充実していく。経験豊かな退職校長が指導者となり、若手教職員の育成を行う体制を充実させていく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			27年度予 算配分等 に関する 優先順位	単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			27年度にお ける事業の 方向性						
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	014001 教育研究事業				教育研究所	非該当	関連無し	研修講座・教育講演会の 参加人数			人			
	23実績	4371	1,166	8,800	9,966	9,966	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	2400	864	8,800	9,664	9,664	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	24実績	2727	854	8,800	9,654	9,654									
	25計画	2400	845	8,800	9,645	9,645	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	25実績	2806	845	8,800	9,645	9,645									
	26計画	2450	1,000	8,800	9,800	9,800	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増減なし	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	継続 1号	014002 特別支援教育推進事業				教育研究所	非該当	関連無し	個別の教育支援計画の作 成率			%			
	23実績	43.8	1,290	14,400	15,690	15,300	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	45	1,000	14,400	15,400	15,250	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	2
	24実績	44.4	999	14,400	15,399	15,249									
	25計画	45	144	14,400	14,544	14,544	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	2
	25実績	41.48	144	14,400	14,544	14,544									
	26計画	45	3,264	14,400	17,664	17,664	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	26実績														
	27計画														
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 20		文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進							27頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		文化振興部文化課長	井上 陽子		文化振興部考古博物館長	澤井 環				
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策2：魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます							26頁	
	施策	施策07：文化財の保護・保存・継承・活用（文化振興部）							26頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進（文化振興部）								
4 目的		文化財が、後世に伝えられるよう保護・保存されており、市民が文化財に親しんでいる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	博物館等来館者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			31000	32000	32000	33000	33000		
	実績値	27204	30363	27795	29650	-	-			
指標設定背景・根拠		博物館等への来館者が増加することは、市民の文化財への関心が高まり、文化財に親しんでいることを表す。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	99,355	93,966	94,067	93,551	125,487	-	-	-
		概算人件費	107,600	99,600	99,600	103,600	92,000	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	206,955	193,566	193,667	197,151	217,487	-	-	-
	(内)一般財源	181,583	167,818	166,968	170,177	177,063	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		目標値を達成できなかった要因としては、伊勢型紙資料館を含む街道ウォーキング企画がなかったことや同資料館エリアでの型紙イベントでの集客数の低下が考えられる。また、庄野宿資料館については、秋季、河川敷で行われる大きなイベント時の天候に影響を受け、来館者数に大きな変動が生じる。考古博物館については、夏休み子ども体験博物館の講座を増やし内容を充実させたことと、お月見ミュージアムコンサートや春まつりのイベントも好評であったため、入館者数は前年度比32%増であった。なお、27年度数値目標達成に向けて、来館者数を増やすための各種イベント等を引き続き実施していく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		建物自体が指定文化財や登録有形文化財である資料館等については、来館者の安全確保や価値を損なわない適切な保存を図る上で改修費等の予算確保が課題である。また、来館者の増加のため、観光部局との連携を図り、民間旅行会社が企画する街道ウォーキングの見学地となるよう要請していく。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		市の指定文化財については条例に基づき、市の単独事業として、積極的に保護・管理に努め、国・県の指定文化財については、法令等に基づき、国・県の補助事業を活用しながら、史跡をはじめ、指定文化財の保護・管理を行い、市民への公開を通して文化財保護への理解を求めていく。								



10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位			
		投入コスト[単位:千円]				事業類型			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）							
		様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性		
1	継続 1号	020001 文化財調査事業				文化課	非該当	関連無し	調査に係る文化財調査委員の延べ数			人				
	23実績	23	273	2,400	2,673	2,673			成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続
	24計画	22	308	2,400	2,708	2,708	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13	
	24実績	17	149	2,400	2,549	2,549										
	25計画	23	282	4,000	4,282	4,282	→	→	↑	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12	
	25実績	19	247	4,000	4,247	4,247										
	26計画	20	291	4,000	4,291	4,291	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13	
	26実績															
2	継続 1号	020002 一般文化財保存・活用事業				文化課	非該当	関連無し	指定文化財の適切な保護・管理件数			件				
	23実績	94	5,659	4,000	9,659	9,567			成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続
	24計画	94	5,848	3,600	9,448	9,369	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11	
	24実績	94	5,220	3,600	8,820	8,787										
	25計画	94	6,360	3,600	9,960	9,881	→	→	↑	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
	25実績	94	5,576	3,600	9,176	8,567										
	26計画	94	8,540	3,600	12,140	11,961	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	6	
	26実績															
3	継続 1号	020003 金生水沼沢植物群落保護増殖事業				文化課	非該当	関連無し	金生水沼沢植物群落内の状況診断結果			%				
	23実績	80	1,464	4,000	5,464	5,464			成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続
	24計画	80	1,470	3,600	5,070	5,070	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12	
	24実績	80	2,847	3,600	6,447	5,298										
	25計画	80	1,396	3,600	4,996	4,996	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	25実績	75	1,340	3,600	4,940	4,940										
	26計画	80	1,406	3,600	5,006	5,006	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
	26実績															
4	継続 1号	020004 市内遺跡発掘調査事業				考古博物館	非該当	関連無し	伊勢国府跡調査地点数			箇所				
	23実績	1	6,000	8,000	14,000	10,340			成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続
	24計画	1	6,000	8,000	14,000	10,340	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	24実績	1	6,000	8,000	14,000	10,340										
	25計画	2	6,000	8,000	14,000	10,340	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
	25実績	2	6,000	8,000	14,000	10,340										
	26計画	2	6,000	8,000	14,000	10,340	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	26実績															
5	継続 2号	020005 史跡伊勢国分寺跡保存整備事業				考古博物館	重要事業	関連無し	—			—				
	23実績	—	51,710	8,000	59,710	30,925			成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続
	24計画	—	30,000	8,000	38,000	23,000	↑	→	↑	↑	↑	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	24実績	—	30,000	8,000	38,000	20,900										
	25計画	—	30,000	8,000	38,000	20,900	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	25実績	—	30,000	8,000	38,000	20,900										
	26計画	—	50,500	8,000	58,500	29,715	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	26実績															

6	継続 1号	020006 緊急発掘調査事業				考古博物館 2 ソフト事業（義務）			非該当	関連無し	本報告作成状況			%	
	23実績	1	2,259	8,000	10,259	8,001	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	13
	24計画	60	3,000	8,000	11,000	8,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	24実績	83	654	8,000	8,654	8,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	25計画	60	3,000	8,000	11,000	8,000	→	→	→	↓	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	25実績	90	3,000	8,000	11,000	8,000	→	→	→	↓	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	12
	26計画	80	6,000	8,000	14,000	8,000	→	→	→	↓	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	12
	26実績														
	27計画														
27実績															
7	継続 1号	020007 埋蔵文化財保護事業（発掘届受付・協議・啓発）				考古博物館 2 ソフト事業（義務）			非該当	関連無し	現地説明会等及びスライド説明会参加者数			人	
	23実績	36	6,412	8,000	14,412	14,372	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	8,365	8,000	16,365	16,315	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	85	8,313	8,000	16,313	16,269	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	100	8,579	8,000	16,579	16,529	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	82	8,579	8,000	16,579	16,549	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	120	8,697	12,000	20,697	20,697	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	継続 1号	020008 史跡伊勢国府跡保存整備事業				考古博物館 4 施設維持管理事業			非該当	関連無し	除草回数			回	
	23実績	45	180	7,200	7,380	7,380	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	14
	24計画	2	160	8,000	8,160	8,160	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	24実績	2	158	4,000	4,158	4,158	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	25計画	2	160	4,000	4,160	4,160	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	25実績	2	160	4,000	4,160	4,160	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	26計画	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成26年度統合	—
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	継続 1号	020009 考古博物館管理運営事業				考古博物館 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	0	16,835	32,000	48,835	46,270	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	12000	18,119	32,000	50,119	48,669	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	7910	17,773	32,000	49,773	48,816	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25計画	10000	19,824	32,000	51,824	49,774	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	10400	20,398	32,000	52,398	50,584	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26計画	11000	27,609	32,000	59,609	57,819	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	継続 1号	020010 佐佐木信綱記念館管理運営事業				文化課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	記念館来館者数			人	
	23実績	5272	6,217	3,200	9,417	9,367	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	4315	5,640	6,000	11,640	11,617	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	4651	5,526	6,000	11,526	11,486	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25計画	4518	5,575	6,000	11,575	11,555	↑	→	↓	→	→	改善継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	4468	5,536	6,000	11,536	11,515	↑	→	↓	→	→	改善継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26計画	4797	6,736	2,400	9,136	9,126	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績														
	27計画														
27実績															

11	継続 1号	020011 大黒屋光太夫記念館管理運営事業	文化課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	記念館来館者数			人				
	23実績	5600	3,775	3,200	6,975	6,625	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	5247	6,288	2,400	8,688	6,578	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	5806	6,238	2,400	8,638	6,528	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	5411	4,224	3,200	7,424	6,684	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	5751	4,160	3,200	7,360	6,620	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26計画	5719	4,147	3,200	7,347	7,347	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	26実績														
	27計画														
27実績															
12	継続 1号	020012 稲生民俗資料館管理運営事業	文化課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	資料館来館者数			人				
	23実績	1293	1,532	2,400	3,932	3,932	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	1382	1,639	2,000	3,639	3,639	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	10
	24実績	1178	1,583	2,000	3,583	3,583	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25計画	1342	1,711	2,400	4,111	4,111	↑	→	→	↓	↓	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25実績	1247	1,676	2,400	4,076	4,076	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	11
	26計画	1239	1,874	2,400	4,274	4,274	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	11
	26実績														
	27計画														
27実績															
13	継続 1号	020013 伊勢型紙資料館管理運営事業	文化課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	資料館来館者数			人				
	23実績	4253	2,550	2,400	4,950	4,950	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	4628	1,680	2,000	3,680	3,680	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	24実績	4672	1,631	2,000	3,631	3,631	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25計画	4462	1,716	2,400	4,116	4,116	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25実績	3904	1,689	2,400	4,089	4,089	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	26計画	4276	1,890	2,400	4,290	4,290	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	26実績														
	27計画														
27実績															
14	継続 1号	020014 庄野宿資料館管理運営事業	文化課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	資料館来館者数			人				
	23実績	2536	1,432	2,400	3,832	3,832	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	2485	1,838	2,000	3,838	3,838	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	24実績	3454	1,790	2,000	3,790	3,790	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	①課題解決に向け緊急性が高い	2
	25計画	2799	1,587	2,400	3,987	3,987	→	→	↑	↑	→	改善継続	大幅増	①課題解決に向け緊急性が高い	4
	25実績	3139	1,556	2,400	3,956	3,956	→	→	↑	↑	→	改善継続	大幅増	①課題解決に向け緊急性が高い	4
	26計画	3043	1,797	2,400	4,197	4,197	→	→	↑	↑	→	改善継続	大幅増	①課題解決に向け緊急性が高い	4
	26実績														
	27計画														
27実績															
15	継続 1号	020015 市制70周年記念事業（鈴鹿の戦中・戦後史作成）	文化課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	—			—				
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—
	24計画	—	5,000	3,600	8,600	8,600	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	16
	24実績	—	4,992	3,600	8,592	8,592	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	16
	25計画	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	—	大幅減	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	—	大幅減	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

継続 1号	020016 史跡伊勢国分寺跡維持管理事業					考古博物館 4 施設維持管理事業			非該当	関連無し	除草回数		回		
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間		事業	予算
16	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H24新規	—	
	24計画	2	4,000	8,000	12,000	12,000	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	2	1,092	4,000	5,092	5,092	→	→	↑	↑	→	現状継続	増		
	25計画	2	3,653	4,000	7,653	7,653	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	25実績	2	3,634	8,000	11,634	11,634	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし		
	26計画	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成26年度統合	—
	26実績														
	27計画														
27実績															
17	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
18	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
19	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
20	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 23		リサイクル施策の推進と資源化の促進							31頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		環境部廃棄物対策課長		鈴木 佳明		土木部土木総務課長		松岡 正朋		
		都市整備部市街地整備課長		天野 直樹		都市整備部建築指導課長		服部 進二		
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり							31頁	
	政策	政策3：環境への負荷の少ない循環型社会を進めます							31頁	
	施策	施策09：ごみ減量活動の推進（環境部，土木部，都市整備部）							32頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■ごみ減量及び資源化の推進（環境部） ■清掃センターの施設保全（環境部） ■不燃物リサイクルセンターの整備・運営（環境部）								
4 目的		市民，事業者及び行政が，分別収集等の各種リサイクル施策を推進し資源化を行っている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	ごみ分別収集等の資源化率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			32	32.2	32.3	32.5	32.5		
	実績値	26.5	25.61	25.05	24.88	-	-			
指標設定背景・根拠	資源化率が上昇することは，市民のリサイクル意識が浸透し，活動が活発になっていることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	51,371	45,854	54,081	46,960	49,256	-	-	-
		概算人件費	46,440	45,640	45,800	45,800	44,900	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	97,811	91,494	99,881	92,760	94,156	-	-	-
	(内)一般財源	97,811	91,494	99,881	92,760	94,156	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		資源化率は，資源ごみ回収活動奨励金事業，あきかんポスト事業等を行うとともに，資源ごみの分別の徹底を啓発してきたが，目標値を下回る結果となった。資源ごみの持ち去り，新聞業者等の自主回収の拡大，スーパーマーケット等における資源回収ボックスの設置等が原因と考えられる。今後は，効率的な啓発活動に努め，ごみの減量を目指していくこととしたい。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		昨年から小型家電リサイクル法が施行される等，資源化の推進は重要な課題となっている。また，スマートフォンの普及等により，電子媒体による情報通信はますます発展すると想定され，いわゆる紙媒体は減少すると予想される。今後も，更なる資源化の推進を図ることとしたい。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		資源ごみ持ち去り行為への対策，小型家電リサイクルの推進，古紙類の回収拠点の新設等を実施していくこととしたい。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位	
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	023001 ごみ減量推進事業				廃棄物対策課		非該当	関連無し	ごみ排出量			g		
	23実績	926.7	27,087	16,000	43,087	43,087	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	1018	27,184	16,900	44,084	44,084	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	942.2	26,689	16,900	43,589	43,589									
	25計画	1013	27,808	16,900	44,708	44,708	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	953.1	26,736	16,900	43,636	43,636									
	26計画	929	27,439	16,900	44,339	44,339	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	継続 1号	023002 ごみ資源化推進事業				廃棄物対策課		非該当	関連無し	資源化率			%		
	23実績	25.61	18,484	16,000	34,484	3,020	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	32	22,187	16,900	39,087	39,087	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	25.05	17,781	16,900	34,681	34,681									
	25計画	32.2	24,273	16,900	41,173	41,173	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	24.88	19,924	16,900	36,824	36,824									
	26計画	32.2	19,817	16,000	35,817	35,817	→	→	→	→	→	改善継続	—	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3	継続 1号	023003 建設リサイクル法の届出（建築物以外）に関する事務				土木総務課		非該当	関連無し	—			—		
	23実績	—	0	1,600	1,600	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	—	0	1,600	1,600	1,600									
	25計画	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	—	0	1,600	1,600	1,600									
	26計画	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4	継続 1号	023004 建設リサイクル法の届出（建築物）に関する事務				建築指導課		非該当	関連無し	分別解体等の適正処理率			%		
	23実績	100	0	7,840	7,840	7,840	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	0	7,840	7,840	7,840	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	100	0	7,840	7,840	7,840									
	25計画	100	0	8,000	8,000	8,000	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	100	0	8,000	8,000	8,000									
	26計画	100	0	8,000	8,000	8,000	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5	継続 1号	023005 枝葉木粉碎（チップ化）事業				市街地整備課		非該当	関連無し	枝葉木チップの再利用量			立方メートル		
	23実績	20	1,731	3,200	4,931	4,931	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	20	2,000	3,200	5,200	5,200	→	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	22	1,384	2,400	3,784	3,784									
	25計画	20	2,000	2,400	4,400	4,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	23	300	2,400	2,700	2,700									
	26計画	20	2,000	2,400	4,400	4,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
	27計画														
	27実績														

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		25							循環型社会に向けた基盤整備		34頁
2 作成者	職名	環境部開発整備課長		氏名		匹田 大樹		職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり							31頁		
	政策	政策3：環境への負荷の少ない循環型社会を進めます							31頁		
	施策	施策09：ごみ減量活動の推進（環境部，土木部，都市整備部）							32頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■ごみ減量及び資源化の推進（環境部） ■清掃センターの施設保全（環境部） ■不燃物リサイクルセンターの整備・運営（環境部）									
4 目的	PFI事業によって設置した容器包装プラスチックごみ処理施設，不燃・粗大ごみ処理施設（環境学習・啓発の場を含む）が適正かつ安定的に運営され，循環型社会の形成に向けた基盤整備が進んでいる。										
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	容器包装リサイクル法対象（その他のプラスチックごみ）の資源化率						単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）			
	実績値	67.56	70.22	77.17	80.05	85	90	90			
	指標設定背景・根拠	不燃物リサイクルセンターの整備によって，容器包装リサイクル法対象（その他のプラスチックごみ）の資源化率が向上することは，循環型社会が形成されていくことにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	790,654	911,078	755,742	788,767	753,851	—	—	—	
		概算人件費	49,836	49,836	49,836	49,836	53,360	—	—	—	
	①拡大します	合計コスト	840,490	960,914	805,578	838,603	807,211	—	—	—	
	(内)一般財源	741,190	897,314	731,328	764,353	800,411	—	—	—		
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)	目標達成状況の実績値については，目標値には達していないが，24年度の実績値と比べて増加していることから循環型社会の形成に向けての基盤整備が整いつつあると評価できる。										
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)	成果指標を資源化率としており，その資源化率を上げるためには市民や事業者の理解，協力，分別に対する意識の向上が必要である。そのためにも，今後も継続的に啓発活動を行っていきたい。										
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)	PFI事業者が実施する不燃物リサイクルセンターの運営業務が適正かつ安定的になされているかを，日々指導・監督し，市の要求する水準が確保されているかを定期的にモニタリングしていく。 また，施設の周辺地域全体の整備については，今後も長期的に地域住民の理解と協力が必要であることから，地域の要望を考慮し住環境の整備を進めていく。 事業用地整備については，売却意思がある地権者には予算を確保し対応していく。										

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度に おける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源			作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性
1	継続 1号	025001 廃棄物処理施設周辺環境整備事業				開発整備課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	施工達成率			%		
	23実績	155	75,383	15,600	90,983	86,583	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	100	128,154	15,600	143,754	86,454	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	153	105,814	15,600	121,414	64,114									
	25計画	100	65,900	15,600	81,500	52,900	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	104	65,617	15,600	81,217	52,617									
	26計画	100	58,700	15,600	74,300	74,300	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	継続 1号	025002 リサイクルセンター周辺環境美化事業				開発整備課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	不法投棄苦情件数			件		
	23実績	8	2,335	400	2,735	2,735	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	12	3,157	236	3,393	3,393	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	12	3,351	236	3,587	3,587									
	25計画	12	7,830	236	8,066	1,266	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	12	8,997	236	9,233	2,433									
	26計画	12	2,435	3,760	6,195	-605	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
	27計画														
27実績															
3	継続 2号	025003 不燃物リサイクルセンター整備・運営事業（2期）				開発整備課 6 ハード事業等		戦略的事业③	関連無し	-			-		
	23実績	-	589,807	34,000	623,807	614,793	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	-	659,343	34,000	693,343	651,343	↑	→	↓	↓	→	改善継続	減	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	24実績	-	645,686	34,000	679,686	673,386									
	25計画	-	682,012	34,000	716,012	677,162	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	-	631,375	34,000	665,375	626,525									
	26計画	-	692,716	34,000	726,716	726,716	↑	↑	↓	↓	↑	現状継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
4	継続 2号	025004 事業用地整備事業				開発整備課 6 ハード事業等		非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	76,246	960	77,206	77,206	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	-	0	0	0	0	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	-	156,227	0	156,227	156,227									
	25計画	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	2
	25実績	-	82,778	0	82,778	82,778									
	26計画	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	4
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															



# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 38		高齢者福祉の推進							52頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		保健福祉部長寿社会課長	市川 俊彦							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり							49頁	
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります							49頁	
	施策	施策14：福祉サービスの充実（保健福祉部，都市整備部）							49頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■障がい者福祉の推進（保健福祉部） ■高齢者福祉の推進（保健福祉部）								
4 目的		高齢者が住み慣れた地域（中学校区）や家庭でいつまでも元気に過ごしている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	高齢者福祉サービス事業の延べ利用者数（おむつ支給，ふとん丸洗い，緊急通報システム）						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			1250	1300	1400	1500	1500		
	実績値	1210	1238	1507	1463	-	-			
指標設定背景・根拠	高齢者の在宅福祉サービス事業の利用者が増加することは，在宅生活支援サービスの充実につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	356,542	237,798	278,946	243,558	245,288	-	-	-
		概算人件費	22,400	21,440	23,200	23,840	34,720	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	378,942	259,238	302,146	267,398	280,008	-	-	-
	(内)一般財源	151,125	137,032	148,869	155,064	173,634	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		高齢者福祉計画（平成24年度～平成26年度）に基づき高齢者福祉の増進を図ってきた。毎年生活実態を確認した上で対象者を決定しているため，実績値が前年度に比べ減少しているものの変動の範囲内であり，全体として増加傾向にある。今後も住み慣れた地域で自立して生活の継続ができるよう事業を推進する。 当該施策は，概ね計画どおり推移している。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		重度の要介護状態となっても，住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が法改正により規定された。国の動向に注視しながら制度の見直し等適切に対応していく必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		住み慣れた地域での生活の継続と高齢者福祉の増進を目指し，新しい「高齢者福祉計画」（平成27年度～平成29年度）を策定している。当該計画の推進と地域包括ケアシステムの構築の向け取り組んでいく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	038001 老人ホーム入所判定事業				長寿社会課 2 ソフト事業（義務）		非該当	関連無し	養護老人ホームに入所し た人数			人		
	23実績	10	109	400	509	509	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	10	142	400	542	542	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	9
	24実績	10	108	400	508	508									
	25計画	10	186	400	586	586	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	9
	25実績	12	88	400	488	488									
	26計画	10	186	400	586	586	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	8
	26実績														
2	継続 1号	038002 敬老の日記念品事業				長寿社会課 2 ソフト事業（義務）		非該当	関連無し	記念品贈呈割合			%		
	23実績	100	903	800	1,703	1,703	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	13
	24計画	100	800	800	1,600	1,600	→	→	→	↑	→	改善継続	増	⑥成果・効果を 維持しながらコ スト減少を図る	11
	24実績	100	903	640	1,543	1,543									
	25計画	100	822	400	1,222	1,222	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	11
	25実績	100	918	640	1,558	1,558									
	26計画	100	1,028	640	1,668	1,668	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	11
	26実績														
3	継続 1号	038003 施設入所者措置費交付事業				長寿社会課 2 ソフト事業（義務）		非該当	関連無し	措置者数			人		
	23実績	53	115,396	800	116,196	97,651	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	55	126,470	800	127,270	107,392	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	24実績	60	115,711	800	116,511	98,385									
	25計画	57	128,651	800	129,451	108,165	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	25実績	57	113,581	800	114,381	114,381									
	26計画	63	128,177	800	128,977	110,497	↑	→	→	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	3
	26実績														
4	継続 1号	038004 老人クラブ補助事業				長寿社会課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	老人クラブ会員数			人		
	23実績	15303	12,269	1,200	13,469	9,535	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	12
	24計画	15000	12,519	1,200	13,719	9,869	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	10
	24実績	14792	12,104	1,200	13,304	9,803									
	25計画	14500	12,310	800	13,110	9,260	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	10
	25実績	14362	11,818	800	12,618	9,037									
	26計画	15000	12,752	800	13,552	9,364	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	10
	26実績														
5	継続 1号	038005 在宅高齢者等支援事業				長寿社会課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	サービスを受ける高齢者 数			人		
	23実績	224	4,936	6,400	11,336	11,336	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	200	7,322	6,400	13,722	13,722	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	3
	24実績	220	4,517	5,600	10,117	10,117									
	25計画	200	6,300	4,800	11,100	11,100	→	→	→	→	→	現状継続	増	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	25実績	235	4,200	4,800	9,000	9,000									
	26計画	200	6,424	6,400	12,824	12,824	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	26実績														

6	継続 1号	038006 おむつ支給事業	長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)				非該当	関連無し	1名あたり利用月数			月			
	23実績	7,232,428	4,000	36,428	6,469	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	11,424,413	1,600	44,013	4,213	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	24実績	11,321,146	1,600	33,746	1,600										
	25計画	11,375,511	800	38,311	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	25実績	11,333,942	800	34,742	3,625										
	26計画	11,430,093	1,600	44,693	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	26実績														
	27計画														
	27実績														
7	継続 1号	038007 高齢者地域支援事業	長寿社会課 2 ソフト事業 (義務)				非該当	関連無し	事業対象高齢者数			人			
	23実績	490	28,197	6,400	34,597	6,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	600	97,809	6,400	104,209	6,400	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	342	31,953	6,400	38,353	6,400									
	25計画	600	47,630	12,000	59,630	12,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	380	38,670	12,000	50,670	11,510									
	26計画	600	48,305	12,000	60,305	20,442	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績														
27計画															
27実績															
8	継続 1号	038008 地域密着型サービス拠点施設整備費補助事業	長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)				重要事業	関連無し	整備された地域密着型サービス拠点の数			箇所			
	23実績	5,879,900	1,600	89,500	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	3,666,480	1,600	68,080	1,600	↓	↓	↓	→	↓	現状継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	24実績	1,366,480	1,600	38,080	1,600										
	25計画	3,443,000	800	43,800	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	25実績	3,338,295	800	39,095	800										
	26計画	0	0	80	80	→	→	↓	→	→	改善継続	減	⑦成果・効果が少ないためコストも減少する	12	
	26実績														
27計画															
27実績															
9	継続 1号	038009 障害者控除対象者認定事務事業	長寿社会課 2 ソフト事業 (義務)				非該当	関連無し	認定書送付数			人			
	23実績	—	121	800	921	921	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10
	24計画	3,950	487	800	1,287	1,287	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	24実績	3,950	338	800	1,138	1,138									
	25計画	4,000	488	800	1,288	1,288	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25実績	4,114	488	800	1,288	1,288									
	26計画	4,200	497	800	1,297	1,297	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26実績														
27計画															
27実績															
10	継続 1号	038010 地域支え合い体制づくり事業	長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)				非該当	関連無し	会議・研修の参加者数			人			
	23実績	2,110,535	800	11,335	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	300	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	0	300	800	1,100	1,100									
	25計画	57	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	75	0	800	800	800									
	26計画	60	0	800	800	800	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	大幅減	平成25年度廃止	13
	26実績														
27計画															
27実績															

継続 1号	038011 災害時要援護者対策促進事業					長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	災害時要援護者台帳登録者数			人	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業		予算
11	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9		
	24計画	6000	1,800	1,600	3,400	3,400	→	→	→	→	→	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7	
	24実績	5920	3,238	1,600	4,838	4,838	→	→	→	→	→	増減なし			
	25計画	6000	1,748	800	2,548	2,548	→	→	→	→	→	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6	
	25実績	6195	1,377	800	2,177	2,177	→	→	→	→	→	増減なし			
	26計画	6500	2,718	800	3,518	3,518	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	6
	26実績														
27計画															
27実績															
新規 1号	038012 介護と連携した在宅医療体制整備推進事業					長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	講演会等の開催			回	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業		予算
12	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	1	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
	25実績	0	181	400	581	400	—	—	—	—	—	—	—		
	26計画	1	808	1,600	2,408	1,658	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	7
	26実績														
27計画															
27実績															
新規 1号	038013 高齢者保健福祉計画策定					長寿社会課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	高齢者福祉計画策定			回	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業		予算
13	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
	26計画	5	1,300	8,000	9,300	9,300	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成26年度完了	5
	26実績														
27計画															
27実績															
14	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															
15	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 40		住生活基本計画の推進							54頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		都市整備部住宅課長	山田 信也							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり							49頁	
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります							49頁	
	施策	施策14：福祉サービスの充実（保健福祉部，都市整備部）							49頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■障がい者福祉の推進（保健福祉部） ■高齢者福祉の推進（保健福祉部）								
4 目的		住宅確保要配慮者が，公的住宅等に入居し，居住の安定が図られている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	市営住宅稼働率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			96.5	97	97.5	98	98		
	実績値	90.96	90.66	93.5	94.5	-	-			
指標設定背景・根拠	市営住宅稼働率が上昇することは，市営住宅が効率的に供給され，住宅確保要配慮者の居住の安定が進んでいることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	205,603	201,780	253,445	226,678	224,716	-	-	-
	概算人件費	60,000	60,000	56,000	56,000	56,000	-	-	-	
	②現状を維持します	合計コスト	265,603	261,780	309,445	282,678	280,716	-	-	-
	(内)一般財源	-100,152	-118,916	-31,786	-109,611	-66,378	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		高齢者・障がい者の入居については，募集戸数が増え，入居の機会が増加した。しかしながら最近の傾向として，新しい団地に人気集中して，古い団地は入居募集をしても応募者がいない場合があり，その結果，空き部屋となり稼働率が上がらず，目標を達成できなかった。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		市営住宅は，高齢者・障がい者の他にも低額所得者，外国人及び子育て世帯といった住宅確保要配慮者に対して，適切な入居の機会を提供していくことが求められ，被災者などに対しても緊急・優先入居といった配慮が必要となる。 募集回数を増やし，県営住宅との募集時期をずらすことにより，さらに入居の機会を増やしていくことが求められる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		鈴鹿市住生活基本計画に基づき長寿命化を図る団地については，速やかに工事に着手して団地の再生を図り住民ニーズに応える。 また，三重県居住支援連絡会と連携により，市営住宅への入居基準を満たさない世帯に対して，情報の提供，スピーディな支援を心がけ居住安定を推進する。 用途廃止団地においては，建物の除却し，土地を民間に売却することにより，地域の再生を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			27年度予 算配分等 に関する 優先順位	単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			27年度にお ける事業の 方向性						
		様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	27年度にお ける事業の 方向性
1	継続 1号	040001	市営住宅管理事業				住宅課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	入居率			%		
	23実績	100	132,636	42,000	174,636	138,369	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	100	156,662	32,000	188,662	-150,918	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	1
	24実績	100	154,437	32,000	186,437	-171,836									
	25計画	100	183,609	28,000	211,609	-123,257	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	25実績	95.5	169,643	28,000	197,643	-156,796									
	26計画	100	173,740	28,000	201,740	-123,489	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	継続 1号	040002	改良住宅管理事業				住宅課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	入居率			%		
	23実績	100	10,179	4,000	14,179	14,131	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	4,544	4,000	8,544	8,469	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	2
	24実績	100	4,467	4,000	8,467	8,456									
	25計画	100	4,544	4,000	8,544	8,469	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	2
	25実績	99.3	4,392	4,000	8,392	8,365									
	26計画	100	4,684	4,000	8,684	8,609	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	2
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3	継続 2号	040003	改良住宅施設改修事業				住宅課 6 ハード事業等	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	1,995	4,000	5,995	5,995	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	-	2,000	4,000	6,000	6,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	24実績	-	1,943	4,000	5,943	5,943									
	25計画	-	2,000	4,000	6,000	6,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	25実績	-	1,806	4,000	5,806	5,806									
	26計画	-	2,000	4,000	6,000	6,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4	継続 1号	040004	公的賃貸住宅再生事業				住宅課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	老朽住宅比率			%		
	23実績	0.22	21,585	12,000	33,585	30,435	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	21	17,497	12,000	29,497	26,347	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	24実績	20	16,317	12,000	28,317	26,855									
	25計画	19	17,192	12,000	29,192	26,042	↑	→	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	25実績	19	12,471	12,000	24,471	21,098									
	26計画	18	18,992	12,000	30,992	27,392	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5	継続 2号	040005	市営住宅再生整備事業				住宅課 6 ハード事業等	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	31,925	8,000	39,925	16,975	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	24,900	8,000	32,900	9,950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	3
	24実績	-	24,616	8,000	32,616	11,666									
	25計画	-	46,100	8,000	54,100	50,960	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	25実績	-	38,366	8,000	46,366	11,916									
	26計画	-	25,300	8,000	33,300	15,110	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	3
	26実績														
	27計画														
	27実績														

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 44		健康づくりの啓発の推進							60頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		保健福祉部健康づくり課長	古市 素朗							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり							49頁	
	政策	政策6：いつも健康で暮らせるまちにします							59頁	
	施策	施策16：健康づくりの推進（保健福祉部）							59頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■健康診査の充実（保健福祉部）								
4 目的		多様な機会を通して市民の健康への関心が高まり、健康づくり活動に取り組んでいる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	健康教育，相談，指導を受けた人数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			34000	36000	36000	38200	38200		
	実績値	34759	33550	36036	41674	-	-			
指標設定背景・根拠	健康教育等の事業の参加者が増加することで、より多くの市民が健康づくりに取り組み、健康への意識が高まる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	30,778	25,923	29,151	23,600	27,518	-	-	-
		概算人件費	28,160	28,000	28,160	31,600	31,600	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	58,938	53,923	57,311	55,200	59,118	-	-	-
	(内)一般財源	50,653	49,625	49,704	51,074	49,239	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		健康増進事業及び保健センター利用者数が増加した主な要因は、市民の健康意識が高まり、各種講座などへの参加が増加したことによるもの。高齢者地域支援事業の実績が減少した原因は、事業の実施方針を講演会の開催から、地域での介護予防に資する組織や人材の育成支援に取組み方法を変更したことによる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		市民の健康意識を高めるため、健康増進事業において地域支援組織を支援し、地域での人材育成に努める。健康教育や市民健康講座については、更に多くの市民に参加していただくための方策を検討する。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		市民の健康づくり意識の向上を図るため、健康増進事業における健康教育，健康相談，市民健康講座の事業を優先的に実施する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	044001 高齢者地域支援事業				健康づくり課		非該当	関連無し	講座・相談のべ参加者数			人		
	23実績	3908	2,740	12,000	14,740	12,000	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	3941	6,106	12,000	18,106	12,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	2999	2,517	12,000	14,517	12,000									
	25計画	4128	5,157	12,000	17,157	12,000	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	2351	2,243	12,000	14,243	12,000									
	26計画	2821	4,261	12,000	16,261	12,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	継続 1号	044002 健康づくり推進事業				健康づくり課		非該当	関連無し	健康づくり講演会、歯の健康教室、健康展来場者人数			人		
	23実績	894	627	2,000	2,627	2,627	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	1000	687	2,000	2,687	2,687	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	1188	641	1,840	2,481	2,481									
	25計画	1100	804	2,000	2,804	2,804	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	1040	521	2,000	2,521	2,521									
	26計画	1100	1,221	2,000	3,221	3,221	-	-	-	-	-	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3	継続 1号	044003 健康増進事業				健康づくり課		非該当	関連無し	健康増進事業利用者延べ人数			人		
	23実績	6251	1,438	13,360	14,798	13,882	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	5626	1,465	11,600	13,065	12,166	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	6835	1,261	11,600	12,861	12,083									
	25計画	7518	2,121	11,600	13,721	12,558	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	8956	1,554	11,600	13,154	11,991									
	26計画	9403	1,115	11,600	12,715	12,064	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4	継続 1号	044004 保健センター維持管理事業				健康づくり課		非該当	関連無し	保健センター利用者数			人		
	23実績	16747	19,666	2,000	21,666	21,666	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	17000	21,800	2,000	23,800	23,800	→	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	19229	21,061	2,000	23,061	23,061									
	25計画	17000	20,342	2,000	22,342	22,342	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	24343	18,562	2,000	20,562	20,562									
	26計画	17000	19,954	2,000	21,954	21,954	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5	継続 1号	044005 自殺対策事業				健康づくり課		非該当	関連無し	自殺対策事業参加延べ人数			人		
	23実績	-	-	-	-	-	成果			活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算
	24計画	120	720	560	1,280	-	↑	↑	→	→	↑	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	404	443	560	1,003	-									
	25計画	410	727	560	1,287	0	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	577	720	4,000	4,720	4,000									
	26計画	500	967	4,000	4,967	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
	27計画														
	27実績														



# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 48		医療体制の充実						65頁		
2 作成者	職名	保健福祉部健康づくり課長		氏名		古市 素朗		職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策6：いつも健康で暮らせるまちにします						59頁		
	施策	施策17：医療体制・制度の充実（保健福祉部）						62頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■医療費助成による生活の安定（保健福祉部） ■医療体制の充実（保健福祉部）								
4 目的		市民が急な病気やけがのとき、いつも安心して医療機関で診察を受けることができる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	応急診療所の受診者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			9776	9776	9776	9776	9776		
	実績値	9776	10067	9827	10758	-	-			
指標設定背景・根拠	救急医療の適正な利用方法を広報することにより、休日、夜間に受診される緊急性のない軽症患者を抑制し、救急医療体制の維持が図られている。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	231,852	222,427	249,994	312,442	199,364	-	-	-
		概算人件費	22,800	22,800	22,800	22,800	22,000	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	254,652	245,227	272,794	335,242	221,364	-	-	-
	(内)一般財源	170,765	152,245	182,889	236,812	133,650	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		休日、夜間における緊急性のない軽症患者の安易な救急医療機関の受診を減少させるため、広報や啓発事業に取り組んでいるが、改善に繋がっていない。受診者数が、24年度と比べ、小児科は約11%の減少に対し、内科（成人）は6%の増加している。医療機関などの関係機関との連携を図り、目標値達成のための効果的な啓発に取り組む。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		一次救急当番病院の受入れ患者数は、前年度とほぼ同様であるが、二次救急輪番病院への患者数は、前年度から2%増加した。内、成人が3%の増加、小児は20%の減少である。勤務医師が不足しており、救急医療体制の維持が厳しい状況において、平時から、かかりつけ医をもち、速やかに受診することの啓発に更に努める必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		一次救急医療機関の要となる応急診療所運営事業を最優先とする。小児救急医療体制の維持に努めると共に、病院群輪番（二次救急輪番）、一次救急医療体制整備を行い、各医療機関の連携強化を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名		単位				
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	048001	病院群輪番制病院（二次救急医療）運営補助事業				健康づくり課	重要事業	関連無し	救急患者受入体制整備日数		日			
	23実績	10030	62,088	160	62,248	62,248	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	365	68,909	2,000	70,909	70,909	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	24実績	365	68,908	2,000	70,908	70,908									
	25計画	365	69,193	2,000	71,193	71,193	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	365	69,193	2,000	71,193	71,193									
	26計画	—	69,336	2,000	71,336	71,336	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	継続 1号	048002	応急診療所運営事業				健康づくり課	重要事業	関連無し	応急診療所利用者数		人			
	23実績	10067	82,703	16,000	98,703	2,703	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	—	82,802	16,000	98,802	16,000	→	→	↑	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	9827	81,592	16,000	97,592	5,472									
	25計画	—	93,001	16,000	109,001	20,000	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	10750	85,726	16,000	101,726	4,017									
	26計画	—	89,801	16,000	105,801	18,946	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
3	継続 1号	048003	一次救急医療体制整備事業				健康づくり課	重要事業	関連無し	救急患者受入体制整備日数		日			
	23実績	975	32,542	320	32,862	32,862	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	365	36,512	2,000	38,512	38,512	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	314	32,489	2,000	34,489	34,489									
	25計画	365	36,443	2,000	38,443	38,443	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	314	33,206	2,000	35,206	35,206									
	26計画	—	38,937	2,000	40,937	40,937	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
	27計画														
27実績															
4	継続 1号	048004	小児救急輪番運営事業補助				健康づくり課	重要事業	関連無し	小児救急患者受入体制整備日数		日			
	23実績	220	1,655	160	1,815	712	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	99	1,629	2,000	3,629	2,544	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	99	1,438	2,000	3,438	2,576									
	25計画	97	1,357	2,000	3,357	2,453	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	97	1,317	2,000	3,317	2,596									
	26計画	—	1,290	2,000	3,290	2,431	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績														
	27計画														
27実績															
5	継続 1号	048005	公的病院施設設備整備費補助				健康づくり課	重要事業	関連無し	—		—			
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—
	24計画	—	42,000	800	42,800	42,800	→	↑	↑	↑	↑	H24完了	減	—	—
	24実績	—	38,000	800	38,800	38,800									
	25計画	—	50,000	800	50,800	50,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	—	123,000	800	123,800	123,800									
	26計画	—	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 50		人権・平和意識の高揚						68頁		
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		生活安全部人権政策課長	河内 正人							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策7：一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします						66頁		
	施策	施策18：平等で平和な社会の実現（生活安全部，教育委員会事務局）						66頁		
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■なし								
4 目的		市民が啓発イベントを通じ，平和の尊さや人権を尊重する意識を高めている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	啓発イベントへの参加者数					単位	人		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			2900	2900	2900	2900	2900		
	実績値	2160	2346	2728	2942	-	-			
指標設定背景・根拠	啓発イベントに参加し，人権問題について理解する人が増えることで，人権が尊重される社会づくりにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	7,700	6,872	7,003	6,038	6,822	-	-	-
		概算人件費	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	31,700	30,872	31,003	30,038	30,822	-	-	-
	(内)一般財源	30,700	30,076	30,148	28,968	25,998	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		各種啓発イベントの参加者数は，年度毎にテーマや内容に変化をもたせることにより年々増加し，平成25年度に目標値を上回る参加を得られたことから，第3期行財政経営計画の前半は，順調に事業を推進できたと考える。引き続き，参加者数の増加を図りながら，参加者の意見等を分析することにより，市民ニーズの把握に努め，より効果的な啓発イベントとなるよう取り組む必要がある。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		社会情勢の急激な変化に伴い，インターネットによる人権侵害等の新たな人権課題が生じてきている現状に対応し，広く市民の関心を高め，積極的な参加に繋がる取り組みを実施していく必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		既存の各種啓発事業を継続して実施していくに当たり，市民ニーズや新たな人権課題等に対応できるよう，個々の事業について内容等の見直しを行い，参加者数の増加，人権意識の高揚を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位					
		事業費	概算人件費	合計コスト	一般財源	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業の方向性	予算の方向性	
1	継続	050001 非核平和都市宣言事業				人権政策課			非該当	関連無し	イベント参加者数		人		
	1号					1 ソフト事業（任意）									
	23実績	461	188	4,000	4,188	4,188	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	450	256	4,000	4,256	4,256	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	621	246	4,000	4,246	4,274									
	25計画	450	289	4,000	4,289	4,289	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	384	274	4,000	4,274	4,273									
	26計画	450	289	4,000	4,289	289	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績														
27計画															
27実績															
2	継続	050002 人権尊重都市宣言事業				人権政策課			非該当	関連無し	イベント参加者数		人		
	1号					1 ソフト事業（任意）									
	23実績	756	496	12,000	12,496	12,496	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	750	700	8,000	8,700	8,700	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	707	494	8,000	8,494	8,494									
	25計画	750	682	8,000	8,682	8,682	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	888	504	8,000	8,504	8,504									
	26計画	750	682	8,000	8,682	8,682	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績														
27計画															
27実績															
3	継続	050003 人権啓発事業				人権政策課			非該当	関連無し	イベント参加者数		人		
	1号					1 ソフト事業（任意）									
	23実績	1129	6,007	12,000	18,007	17,090	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	1500	6,744	12,000	18,744	17,744	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	1400	6,132	12,000	18,132	17,308									
	25計画	1500	6,032	12,000	18,032	17,177	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	1300	5,260	12,000	17,260	16,191									
	26計画	1500	5,851	12,000	17,851	17,027	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績														
27計画															
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 52		外国人市民との地域共生と異文化理解の推進							71頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		生活安全部市民対話課長	吉崎 美穂							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり							49頁	
	政策	政策7：一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします							66頁	
	施策	施策19：共生社会の実現（生活安全部）							70頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■日本人と外国人の共生の推進（生活安全部）								
4 目的		互いの文化や習慣のちがいを尊重し合い、地域で共生している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	財団法人鈴鹿国際交流協会に登録しているボランティア人数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			225	230	240	240	240		
	実績値	226	222	245	257	-	-			
指標設定背景・根拠	登録者数から、市民の共生社会に対する意識を測ることができ、その増加は、地域共生が進むことにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	36,050	36,241	37,621	36,337	35,716	-	-	-
		概算人件費	16,000	16,000	14,400	14,400	14,400	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	52,050	52,241	52,021	50,737	50,116	-	-	-
	(内)一般財源	50,150	50,541	52,021	50,737	49,916	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		国際交流協会からの積極的な発信などにより、多文化共生ボランティア数は年々増加してきている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		外国人市民は減少の傾向であるが、その反面、定住化が進んでいるとも言われている。そのことから、外国人市民と日本人市民が互いの文化的ちがいを認め合い、いきいきと暮らせる多文化共生社会の実現は急務である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		多文化共生事業は、従来どおり最優先事業とし、今後も地域共生と異文化理解推進のための啓発を継続していく。国際交流協会補助事業は、多文化共生事業に寄与する事業であることから次に優先する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性		27年度予算配分等に関する優先順位		
			成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源			成果	活動量				事業費	一般 財源
1	継続 1号	052001	多文化共生推進事業				市民対話課		重要事業	関連無し	国際交流協会へのボラン ティア登録者数			人		
	23実績	222	11,725	7,200	18,925	18,925	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	240	11,950	7,200	19,150	19,150	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	24実績	245	11,787	7,200	18,987	18,987										
	25計画	250	11,914	7,200	19,114	19,114	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	25実績	257	10,950	7,200	18,150	18,150										
	26計画	260	11,908	7,200	19,108	19,108	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	26実績															
	27計画															
27実績																
2	継続 1号	052002	財団法人鈴鹿国際交流協会補助事業				市民対話課		非該当	関連無し	個人・法人会員数			人・団体		
	23実績	224	21,392	3,200	24,592	24,592	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	280	22,000	3,200	25,200	25,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
	24実績	190	21,257	3,200	24,457	24,457										
	25計画	200	21,800	3,200	25,000	25,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25実績	158	21,800	3,200	25,000	25,000										
	26計画	190	20,548	3,200	23,748	23,748	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績															
	27計画															
27実績																
3	継続 1号	052003	国際親善事業				市民対話課		非該当	関連無し	ペルフォンテン市青少年 派遣団応募者数			人		
	23実績	19	509	4,000	4,509	4,509	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	25	200	4,000	4,200	4,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	21	1,459	4,000	5,459	5,459										
	25計画	25	3,907	4,000	7,907	7,907	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	32	3,587	4,000	7,587	7,587										
	26計画	25	3,260	4,000	7,260	7,060	→	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	⑦成果・効果が少ないためコストも減少する	3	
	26実績															
	27計画															
27実績																
4	継続 1号	052004	第三国定住難民シンポジウム開催				市民対話課		非該当	関連無し	シンポジウム会場入場者 数			人		
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	500	1,900	1,600	3,500	1,600	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	—	—	
	24実績	500	1,738	1,600	3,338	1,638										
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績															
	27計画															
27実績																
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		公共交通の利便性向上							76頁	
コード	55									
2 作成者	職名	産業振興部商業観光課長		菅沼 博喜		職名	氏名			
	職名					職名	氏名			
	職名					職名	氏名			
	職名					職名	氏名			
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策8：人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります							74頁	
	施策	施策21：人・物がスムーズに行き交う交通網の充実（産業振興部，土木部，都市整備部）							74頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■公共交通の利便性向上（産業振興部） ■幹線道路の整備推進（土木部）								
4 目的		自ら移動手段を持たない市民が，公共交通機関を使って円滑に移動できるようになっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	コミュニティバスの年間利用者総数						単位	万人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			33	34	35	36	36		
	実績値	32	32	33.7	32.9	-	-			
指標設定背景・根拠	利用者数の増加は，交通の不便な地域の交通手段が効率的に確保されていることを示し，自ら移動手段を持たない市民に対する公共交通の利便性の向上につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	158,613	149,823	153,863	151,286	162,898	-	-	-
		概算人件費	14,400	14,400	14,400	14,400	15,200	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	173,013	164,223	168,263	165,686	178,098	-	-	-
	(内)一般財源	120,523	111,924	123,042	118,411	137,799	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>モータリゼーションの進展などにより，地域公共交通全般が衰退してきており，根本的な利用人数増加につながっていない。</p> <p>その中で，鈴鹿市地域公共交通会議では，交通事業者と協力してのパルーンフェスティバルへのブースの出展，ホンダ等の地元企業や地域と協働し交通安全教室などを通して，公共交通全体の利用促進活動に取り組んでいるので，今後もこのような事業を通じて利用促進を行い，利用者の向上につなげていきたい。</p>								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>地方の公共交通全般において，交通事業者の不採算路線からの撤退や，運行回数・サービス水準の低下が進んでいる状況である。</p> <p>コミュニティバスについては，平成25年度で，県の市町バス補助制度が見直しされ県補助金が廃止となった。一方で，硬直した路線のため，路線見直し等による運行経費の削減が困難である。路線・サービス水準を維持するためにも，国補助制度について，調査研究を進める必要がある。</p>								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		<p>利用促進を図り運賃収入の確保・増収を図る。新たな国補助制度について調査研究を進める。</p> <p>また，公共交通の利便性の向上に資するため，利用状況等より重要度の高い駅のバリアフリー化や，駅周辺施設の利便性の維持・向上などに積極的に取り組んでいく。</p>								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性		27年度予算配分等に関する優先順位		
			成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源			成果	活動量				事業費	一般 財源
1	継続 1号	055001	交通網整備促進事業				商業観光課		非該当	関連無し	市内公共交通機関の年間利用者数			人		
	23実績	263	6,951	2,000	8,951	6,501	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	10731000	6,390	800	7,190	4,890	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	24実績	10826542	3,076	800	3,876	1,716										
	25計画	10827000	6,178	800	6,978	4,978	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	5	
	25実績	10808803	4,897	800	5,697	4,137										
	26計画	10809000	4,607	800	5,407	3,907	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	26実績															
	27計画															
	27実績															
2	継続 1号	055002	西部地域コミュニティバス（C-BUS）運行事業				商業観光課		重要事業	関連有り	年間利用者数			人		
	23実績	227634	170,078	1,200	71,278	39,926	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	230000	73,484	5,600	79,084	47,759	→	→	→	↑	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	231451	70,925	5,600	76,525	45,803										
	25計画	232000	71,909	5,600	77,509	50,393	→	→	→	↑	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	222877	71,048	5,600	76,648	48,060										
	26計画	225000	74,554	5,600	80,154	54,902	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績															
	27計画															
	27実績															
3	継続 1号	055003	南部地域コミュニティバス（C-BUS）運行事業				商業観光課		重要事業	関連有り	年間利用者数			人		
	23実績	100845	64,857	4,000	68,857	50,036	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	110000	68,980	5,600	74,580	56,584	→	→	→	↑	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	105613	65,866	5,600	71,466	52,690										
	25計画	110000	66,263	5,600	71,863	56,185	→	→	→	↑	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25実績	105636	65,828	5,600	71,428	54,624										
	26計画	110000	68,563	5,600	74,163	60,616	→	↑	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	26実績															
	27計画															
	27実績															
4	継続 1号	055004	廃止代替バス路線運行事業				商業観光課		非該当	関連無し	年間総利用者数			人		
	23実績	28499	7,985	400	8,385	7,516	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	28000	8,187	1,600	9,787	8,918	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	24実績	29855	8,186	1,600	9,786	9,145										
	25計画	30000	7,809	1,600	9,409	8,982	→	→	→	↑	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	25実績	31347	7,809	1,600	9,409	9,086										
	26計画	32000	7,726	1,600	9,326	9,326	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	26実績															
	27計画															
	27実績															
5	継続 1号	055005	駅周辺施設管理事業				商業観光課		非該当	関連無し	駅利用者数			人		
	23実績	2803583	1,580	400	1,980	1,980	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	2834000	1,572	800	2,372	2,372	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	6	
	24実績	2839384	1,770	800	2,570	2,570										
	25計画	2840000	1,704	800	2,504	2,504	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	6	
	25実績	2898198	1,704	800	2,504	2,504										
	26計画	2899000	1,781	800	2,581	2,581	→	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	6	
	26実績															
	27計画															
	27実績															



新規 2号	055006 伊勢若松駅バリアフリー化整備事業					商業観光課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	—		—		
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
6	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①課題解決に向け 緊急性が高い	1	
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①課題解決に向け 緊急性が高い	—	
	25実績	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	26計画	—	5,667	800	6,467	6,467	→	→	↑	↑	→	完了	大幅増	⑩27年度で完了	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
7	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	23実績														
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 59		良好な住環境の創造・保全							83頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		都市整備部市街地整備課長	天野 直樹		都市整備部建築指導課長	服部 進二				
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策9：地域の個性と暮らしの利便性を高めます							82頁	
	施策	施策24：生活の快適性・利便性の向上（都市整備部，生活安全部，土木部）							82頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■良好な住環境の創造・保全（都市整備部）								
4 目的		都市環境が整備され，快適で利便性の高い生活の場となっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	区画整理事業整備率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			79	85	89	100	100		
	実績値	26.5	62.3	82.9	83.7	-	-			
指標設定背景・根拠	区画整理事業の整備率が増加することは，事業地内の住環境がより多く整備されている状態を示し，都市環境が整備され，快適で利便性の高い生活の場となることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	118,751	99,688	167,483	135,465	189,372	-	-	-
		概算人件費	48,000	45,600	47,300	57,300	48,800	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	166,751	145,288	214,783	192,765	238,172	-	-	-
	(内)一般財源	101,545	87,118	136,433	124,134	136,322	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		成果指標の区画整理事業整備率の目標としては達成できていない。これは，白江土地区画整理事業において，補償交渉が難航していることと，事業が終盤となり工事箇所が限られてきており，整備の伸び率が低くなってきているためである。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		白江土地区画整理事業の推進にあたり，移転補償交渉が難航していることから，最終目標年度（平成27年度）までの目標達成は，非常に困難であると予測される。また，公園施設長寿命化事業について，計画との整合性が課題である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		事業終盤の白江土地区画整理事業を優先とし，事業の早期完成を目指す。また，公園施設長寿命化事業について，計画との整合を適宜検証し，事業推進に努める。その他事務事業については，現状維持とする。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位		
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）								
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 2号	059001	白江土地区画整理事業				市街地整備課 6 ハード事業等	戦略的事业③	関連無し	—			—	—	
	23実績	—	429,795	42,400	472,195	81,616	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	—	70,796	36,000	106,796	65,446	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	24実績	—	63,977	34,400	98,377	58,063	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25計画	—	123,239	21,600	144,839	83,489	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	—	71,832	21,600	93,432	68,601	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26計画	—	106,128	19,200	125,328	59,978	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26実績	—													
27計画															
27実績															
2	継続 2号	059002	(仮称)白子西土地区画整理事業				市街地整備課 6 ハード事業等	非該当	関連無し	—			—	—	
	23実績	—	—	2,400	2,400	2,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	—	200	800	1,000	1,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	5
	24実績	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	6
	25計画	—	200	800	1,000	1,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	6
	25実績	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	6
	26計画	—	200	800	1,000	1,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑧成果、貢献度の見極めのため休止する	5
	26実績	—													
27計画															
27実績															
3	継続 1号	059003	ラブホテル建築等規制審議会				建築指導課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	旅館等の建築件数に対する届出書の提出件数の割合			%	—	
	23実績	0	—	800	800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	44	800	844	844	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	100	44	800	844	844	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	400	400	400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	100	44	400	444	444	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績														
27計画															
27実績															
4	継続 1号	059004	建築物等による放送電波受信障害防止指導事務				建築指導課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	誓約書提出率			%	—	
	23実績	100	0	3,200	3,200	3,200	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	0	3,200	3,200	3,200	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	96	0	3,200	3,200	3,200	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	100	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	↓	↓	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	92.8	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	↓	↓	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	100	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績														
27計画															
27実績															
5	継続 2号	059005	安全安心対策整備事業				市街地整備課 6 ハード事業等	非該当	関連無し	—			—	—	
	23実績	—	26,215	4,800	31,015	17,908	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	47,711	7,200	54,911	31,055	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	—	35,711	7,200	42,911	25,055	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25計画	—	34,000	8,800	42,800	25,800	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	⑨26年度に他の事業と統合する	—
	25実績	—	53,600	8,800	62,400	18,600	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成26年度統合	—
	26計画	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成26年度統合	—
	26実績														
27計画															
27実績															

継続 2号	059006 公園施設長寿命化事業					市街地整備課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	—		—
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規
6	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	10,000	12,900	22,900	22,900	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続 大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する 2
	25実績	—	10,033	23,300	33,333	33,333	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続 大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する 2
	26計画	—	83,000	26,000	109,000	72,500	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続 大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する 2
	26実績												
27計画													
27実績													
7	23実績												
	24計画												
	24実績												
	25計画												
	25実績												
	26計画												
	26実績												
27計画													
27実績													
8	23実績												
	24計画												
	24実績												
	25計画												
	25実績												
	26計画												
	26実績												
27計画													
27実績													
9	23実績												
	24計画												
	24実績												
	25計画												
	25実績												
	26計画												
	26実績												
27計画													
27実績													
10	23実績												
	24計画												
	24実績												
	25計画												
	25実績												
	26計画												
	26実績												
27計画													
27実績													

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成							96頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部農林水産課長	石坂 健							
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策10：地域経済を支える豊かな産業を活かします							89頁	
	施策	施策27：持続的で安定した経営基盤づくり（産業振興部）							92頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■農水産業の担い手支援と生産基盤の整備（産業振興部）								
4 目的		担い手が育成され、農業や漁業の生産効率が高まっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	認定農業者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			245	250	260	270	270		
	実績値	245	236	231	221	-	-			
	指標設定背景・根拠	認定農業者の増加は、担い手が育成されていることを示し、農業の生産効率の向上につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	36,430	44,564	62,261	50,431	66,233	-	-	-
		概算人件費	3,440	8,240	9,040	8,240	8,640	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	39,870	52,804	71,301	58,671	74,873	-	-	-
	(内)一般財源	36,175	45,874	50,234	39,809	50,696	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		関係機関とともに認定農業者制度の啓発に努めたが、目標達成には至らなかった。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		認定農業者に付される大きなメリットのひとつである農業資金の利用需要の減少が考えられる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		各々の事業内容、必要性、緊急性を勘案して、平成26年度の優先順位を決定した。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に 関する優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	069001	農業後継者育成事業				農林水産課	非該当	関連無し	3団体の構成員数			人		
	23実績	31	358	320	678	678	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	31	349	320	669	669	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	33	349	320	669	669									
	25計画	33	271	320	591	591	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	32	271	320	591	591									
	26計画	32	264	320	584	584	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	継続 1号	069002	農村環境改善センター管理運営事業				農林水産課	非該当	関連無し	利用者数			人		
	23実績	9481	22,694	320	23,014	23,014	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	9481	17,881	320	18,201	17,823	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	14453	17,881	320	18,201	18,201									
	25計画	14453	17,940	320	18,260	17,860	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25実績	12329	17,940	320	18,260	18,260									
	26計画	12329	29,424	320	29,744	29,744	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	26実績														
	27計画														
27実績															
3	継続 1号	069003	漁協青壮年部補助事業				農林水産課	非該当	関連無し	事業への延参加人数			人		
	23実績	120	300	400	700	700	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	120	300	400	700	700	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	120	300	400	700	700									
	25計画	120	300	400	700	700	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	91	300	400	700	700									
	26計画	100	1,300	800	2,100	2,100	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4
	26実績														
	27計画														
27実績															
4	継続 1号	069004	漁港管理事業				農林水産課	非該当	関連無し	地元漁協等からの修繕の要望（指摘）箇所数			修繕要望箇所数		
	23実績	3	6,106	800	6,906	6,906	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	3	7,900	800	8,700	8,383	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	3	10,415	800	11,215	10,898									
	25計画	3	7,900	800	8,700	8,383	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	2	6,429	800	7,229	6,912									
	26計画	3	9,355	800	10,155	9,838	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	6
	26実績														
	27計画														
27実績															
5	継続 2号	069005	漁港浚渫事業				農林水産課	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	17,339	800	18,139	18,139	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	4,000	800	4,800	4,800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	-	0	0	0	0									
	25計画	-	4,000	800	4,800	4,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	-	0	0	0	0									
	26計画	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	休止	増減なし	平成26年度休止	-
	26実績														
	27計画														
27実績															

6	継続 2号	069006 漁港施設整備（漁港施設長寿命化）	農林水産課 6 ハード事業等			戦略的事業③	関連無し	—	—	—	—	—	—	—	—
	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24計画	—	6,000	800	6,800	3,800	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	—	7,119	800	7,919	4,806	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	—	19,000	800	19,800	10,300	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	—	13,891	800	14,691	7,746	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	—	7,610	800	8,410	2,050	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	—	—	—	—	—	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	継続 2号	069007 鈴鹿漁港施設整備	農林水産課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	—	—	—	—	—	—	—	
	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	—	2,000	800	2,800	2,800	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	9
	25実績	—	0	800	800	800	↓	↓	↓	↓	↓	完了	人件費のみ	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	完了	人件費のみ	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	完了	人件費のみ	—	—
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	継続 1号	069008 人・農地問題解決推進事業	農林水産課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	農地集積協力金交付件数	件	—	—	—	—	—	
	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	6	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	6	2,000	2,400	4,400	2,400	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	5	1,850	2,400	4,250	2,400	→	↑	↑	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	3	1,100	2,400	3,500	2,400	→	↑	↑	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	3	2,500	2,400	4,900	2,400	→	↑	↑	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26実績	—	—	—	—	—	→	↑	↑	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	継続 1号	069009 新規就農・経営継承総合支援事業	農林水産課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	新規就農者・経営継承総合支援事業補助金交付件数	件	—	—	—	—	—	
	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	3	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	3	1,500	2,400	3,900	2,400	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	6	9,000	2,400	11,400	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	7	10,500	2,400	12,900	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	10	15,000	2,400	17,400	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
10	新規 2号	069010 水産施設整備事業費補助	農林水産課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	—	—	—	—	—	—	—	
	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	24計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
	24実績	—	5,000	800	5,800	5,800	—	—	—	—	—	—	—		
	25計画	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	現状継続	大幅減	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	現状継続	大幅減	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

新規 2号	069011 (仮称) 海岸保全施設長寿命化					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	—		—	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
11	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	3
	26計画	—	780	800	1,580	1,580	—	—	—	—	—	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する
	26実績													
	27計画													
27実績														
12	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
13	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
14	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
15	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														



# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		河川・排水路の整備推進							114頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		土木部河川雨水対策課長	河村 寛							
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁	
	政策	政策12：災害に強いまちづくりを推進します							110頁	
	施策	施策31：浸水・治水対策の推進（土木部，都市整備部）							113頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■河川・水路・排水機場の整備と適正な維持管理（土木部） ■都市浸水対策（都市整備部）								
4 目的		河川や排水路が整備され，浸水・洪水被害が軽減されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	主要3準用河川の整備進捗率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			71	76	78.1	79.8	79.8		
	実績値	65.7	65.7	72.7	75.9	-	-			
	指標設定背景・根拠	3準用河川（金沢川・稲生新川・北長太川）の整備による被害軽減の効果が大きい。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	178,359	171,291	257,047	207,954	266,367	-	-	-
		概算人件費	31,360	24,320	34,480	36,960	46,400	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	209,719	195,611	291,527	244,914	312,767	-	-	-
	(内)一般財源	97,319	73,116	103,487	137,381	197,567	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>25年度の整備事業は，概ね予定通り整備を進めた。引き続き当該施策を実施し，治水安全度の向上に努めていきたい。</p> <p>中間総合評価としては，ほぼ予定どおりの整備の進捗率である。翌年度は，北長太川の護岸整備の進捗が見込めることから，概ね目標どおりの整備が進むものと思われる。</p>								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>事業予算は依然厳しい状況であるが，局地的豪雨の頻発や開発の進行により，地域住民の浸水被害への懸念は拡大していることから，引き続き計画的な河川改修を継続していくと共に，下水道事業と連携を図りつつ雨水流出抑制も含めた総合的な治水対策の推進を図る必要性がある。</p>								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の方)		<p>総合雨水対策基本計画の策定を進め，よりの確な浸水・治水対策を選定し浸水被害の低減を図る。</p> <p>事業継続中の稲生新川及び北長太川の主要河川改良事業に優先的に取り組む。</p>								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度に おける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	083001 排水路新設改良事業				河川雨水対策課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	排水路の整備率			%		
	23実績	—	36,775	4,800	33,476	33,476	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	17,000	2,880	19,880	19,480	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	4
	24実績	73	22,672	3,200	25,872	25,872									
	25計画	100	22,209	2,960	25,169	24,769	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	4
	25実績	101	23,398	4,160	27,558	27,558									
	26計画	100	47,000	11,920	58,920	58,520	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	5
	26実績														
27計画															
27実績															
2	継続 1号	083002 河川改良事業				河川雨水対策課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	実施率			%		
	23実績	—	340,725	6,400	43,175	43,175	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	28,271	5,600	33,871	33,871	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	3
	24実績	100	16,665	2,320	18,985	18,985									
	25計画	100	38,788	5,200	43,988	43,988	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	3
	25実績	100	34,257	6,080	40,337	40,337									
	26計画	100	37,300	4,960	42,260	42,260	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	4
	26実績														
27計画															
27実績															
3	継続 2号	083003 北長太川河川改修事業（第一期）				河川雨水対策課 6 ハード事業等		戦略的事業③	関連無し	—			—		
	23実績	—	33,544	6,400	47,125	47,125	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	24,000	4,080	28,080	5,680	↑	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	24実績	—	21,783	3,040	24,823	4,562									
	25計画	—	51,000	6,800	57,800	7,200	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	25実績	—	48,243	8,560	56,803	22,389									
	26計画	—	43,711	5,840	49,551	18,751	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	3
	26実績														
27計画															
27実績															
4	継続 2号	083004 稲生新川河川改修事業（第一期）				河川雨水対策課 6 ハード事業等		戦略的事業③	関連無し	—			—		
	23実績	—	943	5,600	39,144	16,744	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	—	108,107	18,000	126,107	36,507	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	24実績	—	109,603	15,680	125,283	23,049									
	25計画	—	144,720	19,440	164,160	27,120	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	25実績	—	101,738	18,080	119,818	46,699									
	26計画	—	128,026	17,200	145,226	61,226	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	26実績														
27計画															
27実績															
5	継続 1号	083005 河川協会等負担金事務				河川雨水対策課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	総会、理事会等への出席 回数			回		
	23実績	20	—	160	1,103	1,103	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	18	981	800	1,781	1,781	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	5
	24実績	18	568	80	648	648									
	25計画	18	330	80	410	410	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	5
	25実績	18	318	80	398	398									
	26計画	18	330	80	410	410	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	6
	26実績														
27計画															
27実績															

新規 1号	083006 総合雨水対策基本計画策定事業（河川・排水路）					河川雨水対策課 2 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	—		—	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
6	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	—	10,000	6,400	16,400	16,400	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する 1
	26実績													
	27計画													
27実績														
7	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
8	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
9	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														
10	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 87		避難所の整備								119頁		
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名				
		防災危機管理課長		竹嶋 昇								
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり									110頁	
	政策	政策12：災害に強いまちづくりを推進します									110頁	
	施策	施策32：地震災害対策の推進（都市整備部）									117頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし										
4 目的		地震発生時等に市民が支障なく避難生活を送っている。										
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	収容避難所に指定されている小学校の耐震化及びマンホールトイレの整備率（但し、H23で小学校の耐震化は終了、H24以降は、マンホールトイレの整備率のみに組み替える）							単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		最終目標（H27）		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度			100		
	実績値	86.7	91.1	71.8	92.6	-	-					
	指標設定背景・根拠	避難所の整備率が向上することは、地震発生時に避難所の機能が確保され、市民が支障なく避難生活を送れることにつながる。										
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度			
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績		
		事業費	32,100	27,357	8,180	7,581	820	-	-	-		
		概算人件費	6,400	5,600	5,600	5,600	2,800	-	-	-		
	②現状を維持します	合計コスト	38,500	32,957	13,780	13,181	3,620	-	-	-		
	(内)一般財源	23,500	22,407	11,690	11,381	3,210	-	-	-			
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		災害発生時に基幹避難所である小学校における避難生活を確保するため、屋内運動場の耐震化やマンホールトイレの整備を進めている。 小学校の耐震化は平成23年度に完了し、マンホールトイレの整備についても、計画どおりの進捗の中、27年度には目標を達成する見込みである。										
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		平成26年3月に三重県が公表した南海トラフ巨大地震の被害想定によれば、本市の避難者数は大幅に増加している。また、帰宅困難者数も示されている。 そのため、収容避難所の機能を充実させて、受け入れ能力の向上を図る必要がある。										
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		南海トラフ巨大地震による避難者や帰宅困難者対策として、既存の小学校だけではなく、中学校も基幹避難所として位置づけ、食料等の非常物資の備蓄やマンホールトイレ、防災井戸等の生活可能な設備整備を検討する。										

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業類型			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						
	様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位
1	継続 1号	087001	要援護者用非常用トイレ整備事業				防災危機管理課	重要事業	関連無し	整備率			%		
	23実績	49.1	5,470	2,400	7,870	5,170	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	75.5	5,000	3,200	8,200	5,700	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	75.5	3,778	2,800	6,578	4,728									
	25計画	92.6	4,180	2,800	6,980	4,890	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	92.6	3,657	2,800	6,457	4,657									
	26計画	96.3	820	2,800	3,620	3,210	→	→	↓	↓	↓	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	継続 2号	087002	緊急避難場所整備事業				防災危機管理課	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	-	2,400	2,400	2,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-
	24計画	-	27,100	3,200	30,300	17,800	↓	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減		-
	24実績	-	23,579	2,800	26,379	17,679									
	25計画	-	-	-	-	-	→	↓	↓	↓	↓	-	大幅減		-
	25実績	-	0	0	0	0									
	26計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-		-
	26実績														
	27計画														
27実績															
3	継続 2号	087003	防災施設整備事業				防災危機管理課	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	24実績	-	-	-	-	-									
	25計画	-	4,000	2,800	6,800	6,800	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	-
	25実績	-	3,924	2,800	6,724	6,724									
	26計画	-	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減		-
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		火災予防対策								132頁	
コード		96									
2 作成者	職名	消防本部予防課長		氏名		市川 達也		職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
	職名			氏名				職名	氏名		
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり								110頁	
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します								130頁	
	施策	施策36：防火・防犯対策の推進（生活安全部，消防本部）								130頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし									
4 目的		火災による負傷者等が減少している。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	住宅用火災警報器の設置率							単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計		最終目標（H27）		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	100			
	実績値	71	72	76	79	-	-				
	指標設定背景・根拠	住宅用火災警報器の設置の増加が負傷者の減少につながる。 （22年度の実績値に住宅用火災警報器設置率推計値を誤って入力したもの 74.5⇒71.0に変更）									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	200	194	338	335	200	-	-	-	
	②現状を維持します	概算人件費	72,000	72,000	80,000	80,000	80,000	-	-	-	
		合計コスト	72,200	72,194	80,338	80,335	80,200	-	-	-	
		(内)一般財源	72,200	72,194	80,338	80,335	80,200	-	-	-	
7 総合評価 （25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて）		住宅用火災警報器の設置率は年々向上しているが，平成25年度の実績値は目標値には至らなかった。しかし住宅用火災警報器の必要性は，認識されつつあることから評価できる。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 （市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて）		住宅用火災警報器は，平成18年の法施行により設置義務化され，新築住宅については設置率100パーセントであるが，高齢化に伴う一人暮らしの老人宅等への設置推進が課題と考える。									
9 今後の方向性 （新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方）		住宅用火災警報器の奏功事例のPRや自治会・自主防災隊等の訓練時における啓発を継続し，社会全体の防火意識の向上につなげる。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性		
1	継続 1号	096001 火災予防事業					予防課 2 ソフト事業（義務）		非該当	関連無し	住宅用火災警報器設置率			%	
	23実績	70	217	72,000	72,217	72,217	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	80	200	72,000	72,200	72,200	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	76.1	194	72,000	72,194	72,194									
	25計画	80	338	80,000	80,338	80,338	↑	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	79.16	335	80,000	80,335	80,335									
	26計画	80	200	80,000	80,200	80,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績		0	0											
	26計画		0	0											
	26実績														
	27計画														
3	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
4	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
5	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 104		安心できる消費生活の確保							142頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部産業政策課長	浅野 浩							
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁	
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します							130頁	
	施策	施策39：相談機能の拡充（生活安全部，産業振興部）							142頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし								
4 目的		消費者が、消費生活の正しい知識を身につけ、多様化・複雑化するトラブルを消費生活センター等に相談し、迅速に解決している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	消費生活センター相談件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			1400	1400	1400	1600	1600		
	実績値	1281	1387	1262	1405	-	-			
指標設定背景・根拠		消費生活センター相談件数の増加は、消費生活の啓発事業やセンターの周知活動によってセンターの認知度が高まり、相談機能が充実していることを示し、トラブルの迅速な解決につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	13,399	12,851	15,056	13,074	15,290	-	-	-
		概算人件費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	14,999	14,451	16,656	14,674	16,890	-	-	-
	(内)一般財源	14,999	14,451	16,656	14,674	16,890	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		平成25年度は前年度に比べ143件（11.3%）の増となった。これまで顕在化しなかった食品偽装表示問題や送りつけ商法といった手口での被害が発生したことが要因と考えられるが、消費生活センターの認知度も高まって、同センターを利用される市民が増加しているとも考えられ、同センターの果たす役割は大きい。同センターをPRしつつ、消費者の抱える課題に対応していく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		詐欺等の手口が巧妙となってきている。また、パソコン等電子媒体でのトラブルも多くなっている。トラブルが多様化・複雑化する中、消費生活センターの相談員が迅速・適切に対応できるようにスキルの向上が求められている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		相談件数が増加することは望ましいことではないが、新たな手口による被害も想定される。相談業務の充実に留まらず、未然に被害を防止することも必要であり、広報やホームページを通して積極的に啓発活動を進めていく。								



10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
	様式 年度目標・実績	成果指標 目標・実績	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位		
			事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間			事業の 方向性	予算の 方向性
1	継続 1号	104001 消費者保護事業					産業政策課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	受付相談数			件		
	23実績	1387	12,095	1,600	13,695	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	1400	13,399	1,600	14,999	14,999	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	24実績	1262	12,851	1,600	14,451	14,451									
	25計画	1400	15,056	1,600	16,656	16,656	→	→	→	↑	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	25実績	1405	13,074	1,600	14,674	14,674									
	26計画	1400	15,290	1,600	16,890	16,890	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 111		シティセールスの推進							153頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		企画財務部企画課長	渥美 和生							
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策42：自治力の強化（企画財務部，総務部）							151頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）■シティセールスの推進（企画財務部）■自主財源の積極的な確保（企画財務部）								
4 目的		市の魅力や個性を積極的にアピールし，将来都市像実現に向けて必要となる様々な資源を獲得している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	SUZUKAと・き・め・きファン倶楽部ホームページへの年間アクセス数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計最終目標（H27）		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	365000		
	実績値	351564	347961	219481	519078	-	-			
	指標設定背景・根拠	ホームページへのアクセス件数が増えることは，市の魅力や個性を内外に発信する機会が増えることになり資源獲得につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	3,690	3,331	4,965	3,651	3,880	-	-	-
		概算人件費	5,600	6,000	5,600	5,600	5,600	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	9,290	9,331	10,565	9,251	9,480	-	-	-
	(内)一般財源	9,290	9,331	10,565	9,251	9,480	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		SUZUKAと・き・め・きファン倶楽部ホームページアクセス数は，前年度の約2.4倍の約52万件と大きく増加した。その要因の一つに都市イメージキャッチコピーの制定が考えられるが，県外（首都圏）や市の主催するイベント等でのPRなどを通して市内外の多くの方に市の魅力を発信する機会増加となった。計画期間中においては，これを維持・拡大していけるよう，新鮮な情報掲示など，積極的な情報発信に向けて工夫するよう，ファン倶楽部に働きかける。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		ファン倶楽部ホームページについては，掲載情報の更新が頻繁になされていないため，情報発信力の強化とともに，コストをかけずに効果的な情報発信が求められている。その他のシティセールスについては，全庁的な取組として，職員の意識改革が必要と考える。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		個々の地域資源に深く関わる所属が主体的にシティセールスに取り組めるような仕組みが必要と考える。ファン倶楽部ホームページについては，SNSの一つであるフェイスブックを活用した再構築により新鮮な情報提供とランニングコストの低減の両立を図る。また，ファン倶楽部事務局を鈴鹿国際大学に移管したことによる効果の具現化を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）							27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位
年度目標・ 実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続	111001					企画課			鈴鹿シティセールス特命 大使の数			人		
	1号	シティセールス推進事業				1 ソフト事業（任意）	重要事業	関連無し							
	23実績	12	1,637	5,600	7,237	7,237	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	13	3,690	5,600	9,290	9,290	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	24実績	13	3,331	6,000	9,331	9,331									
	25計画	14	4,965	5,600	10,565	10,565	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	25実績	13	3,651	5,600	9,251	9,251									
	26計画	14	3,880	5,600	9,480	9,480	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 112		機動的な組織・体制の構築							154頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		総務部人事課長	藤井 博之		防災危機管理課	竹嶋 昇				
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策42：自治力の強化（企画財務部，総務部）							151頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）■シティセールスの推進（企画財務部）■自主財源の積極的な確保（企画財務部）								
4 目的		業務の質や量に応じて機動的に対応することにより簡素で効率的な組織が運営されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	定員適正化計画の目標達成率（実削減人数／目標削減人数×100）					単位	パーセント		
	期別	第3期行政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			73	86	100	100	100		
	実績値	91	126	84	80	-	-			
指標設定背景・根拠	定員適正化計画の目標の達成は、最少の経費でより質の高い行政サービスが提供できる状態であり、機動的な組織・体制づくりにつながる。									
6 投入コスト	第3期行政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	23,695	23,883	24,900	25,025	24,595	-	-	-
	概算人件費	54,720	55,520	55,520	55,520	51,520	-	-	-	
	②現状を維持します	合計コスト	78,415	79,403	80,420	80,545	76,115	-	-	-
	(内)一般財源	78,415	79,403	80,420	80,545	76,115	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		平成25年度は、単年度目標10人削減に対し、権限移譲による業務の増加等により逆に3人の増となった。現段階で目標累計削減数を5名下回っており、定員適正化計画最終年度である平成26年度に全体目標達成に向けた取組が必要となる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		現在の定員適正化計画は、平成17年度から平成26年度までの10年間で75人削減を目標に取り組んでいるが、権限移譲による業務量の増加や複雑化する行政需要に対応する必要があり、削減に苦慮している。一方、地方の行財政改革推進の観点から人員削減の要求は高く、あらゆる方策を検討する必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		現計画は26年度で終了となるが、権限移譲等による業務量の増加、複雑化する行政需要に対応するため、現計画の評価と検証を行い平成26年度に今後5年間の新たな計画を策定することとしている。このため、引き続き、職員管理事務を最優先とする。 次に、防災危機管理体制の充実を図るために、危機管理対策事業を優先させる。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			27年度予 算配分等 に関する 優先順位	単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度にお ける事業の 方向性					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費		一般 財源			作業 時間	事業の 方向性
1	継続 1号	112001 行政組織規則に関する事務				人事課 5 内部管理事務		非該当	関連有り	—			—	—		
	23実績	—	0	9,920	9,920	9,920	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	—	0	9,920	9,920	9,920	↑	↑	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	—	0	9,920	9,920	9,920	—	—	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25計画	—	0	9,920	9,920	9,920	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25実績	—	0	9,920	9,920	9,920	—	—	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	26計画	—	0	9,920	9,920	9,920	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
2	継続 1号	112002 職員管理事務				人事課 5 内部管理事務		非該当	関連有り	—			—	—		
	23実績	—	23,319	32,000	55,314	55,314	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	—	23,495	32,000	55,495	55,495	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	24実績	—	23,685	32,000	55,685	55,685	—	—	→	→	↑	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	25計画	—	24,700	32,000	56,700	56,700	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	25実績	—	24,825	32,000	56,825	56,825	—	—	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	26計画	—	24,334	32,000	56,334	56,334	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
3	継続 1号	112003 危機管理対策事業				防災危機管理課 5 内部管理事務		非該当	関連有り	研修会（説明会）出席者数			人	—		
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—	
	24計画	—	20	200	12,000	12,200	12,200	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	—	20	198	12,000	12,198	12,198	—	—	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25計画	—	20	200	12,000	12,200	12,200	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	—	20	200	12,000	12,200	12,200	—	—	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26計画	—	20	261	8,000	8,261	8,261	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
4	継続 1号	112004 コンプライアンスの推進				人事課 5 内部管理事務		非該当	関連無し	企画課から平成25年度に 所管替え			—	—		
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—	
	24計画	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	24実績	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	25計画	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	25実績	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	26計画	—	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
5	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—	
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 113		環境の変化に対応できる人材育成							155頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		総務部人事課長		藤井 博之		総務部総務課長		鈴木 謙治		
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策42：自治力の強化（企画財務部，総務部）							151頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）■シティセールスの推進（企画財務部）■自主財源の積極的な確保（企画財務部）								
4 目的		職員が政策形成能力，専門知識，業務意欲などを高める研修を受講することにより，職員の資質の向上が図られている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	研修に関する理解度を含めた職員満足度（受講職員アンケートにおける5段階評価の平均値）						単位	なし	
	期別	第3期行政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			4.2	4.2	4.2	4.2	4.2		
	実績値	4.1	4.18	4.09	4.17	-	-			
指標設定背景・根拠		研修に関する理解度を含めた高い職員満足度を確保する事は，職員の能力や業務意欲が向上している状態であり，人材育成につながる。								
6 投入コスト	第3期行政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	8,270	8,858	11,106	10,402	11,329	-	-	-
		概算人件費	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	16,270	16,858	19,106	18,402	19,329	-	-	-
	(内)一般財源	16,270	16,858	19,106	18,402	19,329	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		研修に関する職員満足度は前年度を上回り，目標値に近い数値となった。評価値の低い研修について，講師の変更，内容の見直し等の改善を行った結果と思われる。今後も更に検討を行い，人材育成に繋がる研修を実施していく必要がある。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		住民ニーズが多様化，高度化するとともに，経済・社会情勢の変化，超高齢社会の到来等によって，これまで以上に厳しい行政運営が予想される。また，地方分権の進展によって，自治力の高い市政運営が必要となることから，その原動力となる職員力の育成・強化に繋がる研修は不可欠である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		鈴鹿市人材育成基本方針は策定後8年以上が経過し，その間，市民ニーズの多様化や国・県からの権限移譲が増加していることから，求められる職員像や研修体系の在り方の見直しが必要となってきている。このため，これまでの取組を検証し，平成26年度中に人材育成基本方針の改定を行う。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）							27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位
年度目標・ 実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
	継続	113001					人事課		非該当	関連有り	研修受講後アンケート結 果			点	
	1号	職員研修事務					5 内部管理事務								
1	23実績	4.18	7,070	8,000	15,070	15,070	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	4.2	8,270	8,000	16,270	16,270	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	24実績	4.09	8,858	8,000	16,858	16,858									
	25計画	4.2	11,106	8,000	19,106	19,106	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	25実績	4.17	10,402	8,000	18,402	18,402									
	26計画	4.2	11,329	8,000	19,329	19,329	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
3	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 114		自主財源の積極的な確保							156頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		企画財務部納税課長		福岡 伸一		企画財務部市民税課長		坂 佳徳		
		企画財務部資産税課長		近藤 昌洋		企画財務部秘書広報課長		丹羽 威知郎		
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策42：自治力の強化（企画財務部，総務部）							151頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）■シティセールスの推進（企画財務部）■自主財源の積極的な確保（企画財務部）								
4 目的		申告方法や納税方法が拡充され、安定的に市税が確保されています。また、多種多様な市有資源を活用した広告収入や、市民サービスの適正な受益者負担など自主財源が確保されています。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	現年度課税分収納率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			98	98	98	98	98		
	実績値	97.88	97.98	98.18	98.29	-	-			
指標設定背景・根拠	主たる自主財源である市税の収納率が向上することは、自主財源の確保につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	248,397	233,073	248,292	233,437	285,898	-	-	-
		概算人件費	527,360	523,760	536,160	536,160	539,360	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	775,757	756,833	784,452	769,597	825,258	-	-	-
	(内)一般財源	772,521	753,330	781,216	766,344	692,358	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		申告支援システム、家屋評価の民間委託により、事務の効率化、迅速化及び適正課税を行った。また、徴収に関しては、累積滞納額の解消を図るため、財産差押やインターネット公売による換価処分などを積極的に実施し徴収率のアップにつなげた。収納率は向上しており、今年度も目標は達成された。引き続き、財源確保の向上に取り組んでいきたい。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		家屋構造が複雑化していることから、一部の家屋評価を民間委託しているが、評価手法の蓄積を行い、評価レベルを向上させる必要がある。納付機会の拡充としては、クレジット納付や既存の納付方法の拡大を図る必要がある。また、特別徴収義務者の加入促進の啓発にも取り組み、事務負担の増加を懸念する事業者に対し制度への理解を深める対応が必要である。財源を適切に確保するため、市税及び税外収入を含めたすべての市債権の適正な管理と効率的、効果的な回収を行う必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		申告支援システムを活用して、更なる課税事務の効率化を検討するとともに、職員のスキルアップを図っていく。家屋評価事務の民間委託により、課税の平準化、事務の効率化を図り、現地調査を確実にやり、適正な課税に引き続き取り組む。新しい納付方法について、他課と連携し検討するとともに、徴収に関する職員のスキルアップを行っていく。								



10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						27年度における事業の方向性	27年度予算配分等に関する優先順位	
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	114001	市税収納管理事務				納税課	非該当	関連無し	現年度課税分収納率			%		
	23実績	97.98	36,188	118,000	154,188	154,188	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	98	48,971	146,400	195,371	192,871	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	98.18	47,066	145,600	192,666	189,902									
	25計画	98	53,987	150,400	204,387	201,887	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25実績	98.29	44,622	150,400	195,022	192,522									
	26計画	98	56,901	130,400	187,301	54,401	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績														
	27計画														
	27実績														
2	継続 1号	114002	三重地方税管理回収機構移管事務				納税課	非該当	関連無し	回収機構移管件数			件		
	23実績	45	14,098	8,800	22,898	22,898	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	45	13,801	12,000	25,801	25,801	→	→	↓	↓	→	現状継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	51	13,801	9,200	23,001	23,001									
	25計画	45	11,947	800	12,747	12,747	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	7
	25実績	45	11,947	800	12,747	12,747									
	26計画	45	11,312	800	12,112	12,112	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	7
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3	継続 1号	114003	市民税・軽自動車税等賦課事務				市民税課	非該当	関連無し	課税調定額（現年）			千円		
	23実績	14016478	103,228	188,160	291,388	290,661	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	13417546	123,168	188,160	311,328	310,592	↑	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	14454466	115,560	188,160	303,720	302,981									
	25計画	13801507	106,598	188,160	294,758	294,022	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	14575296	101,108	188,160	289,268	288,515									
	26計画	14258114	105,379	188,160	293,539	293,539	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4	継続 1号	114004	固定資産税賦課事務				資産税課	非該当	関連無し	課税調定額（現年決算額）			千円		
	23実績	13144486	88,862	168,000	276,862	276,862	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	12336380	62,457	180,000	242,457	242,457	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	12288913	56,646	180,000	236,646	236,646									
	25計画	12288913	75,760	172,000	247,760	247,760	→	→	→	→	→	現状継続	—	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	12159527	75,760	172,000	247,760	247,760									
	26計画	12011000	108,148	180,000	288,148	288,148	—	—	—	—	—	—	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5	継続 1号	114005	バナー広告事業				秘書広報課	重要事業	関連有り	バナー広告料			円		
	23実績	1008000	0	400	400	400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	1008000	0	400	400	400	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	1124550	0	400	400	400									
	25計画	1116000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	899640	0	400	400	400									
	26計画	900000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績														
	27計画														
	27実績														

継続 1号	114006 広報すずか広告事業					秘書広報課			重要事業	関連有り	広告料		円		
	1 ソフト事業 (任意)					成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間		事業	予算
6	23実績	1323000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	継続	6	
	24計画	1323000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	改善継続 増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	1008000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	改善継続 増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	1512000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	現状継続 増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	861000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	現状継続 増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26計画	864000	0	400	400	400	→	→	→	→	→	→	現状継続 人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績														
	27計画														
27実績															
継続 1号	114007 債権回収対策事業					納税課			非該当	関連有り	対象税外収入の平均徴収率		%		
	2 ソフト事業 (義務)					成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間		事業	予算
7	23実績	-	-	-	-	-	→	→	→	→	→	→	H25新規	-	
	24計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	24実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	25計画	81	0	24,000	24,000	24,000	↑	↑	↑	↑	↑	-	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	0	0	24,000	24,000	24,000	↑	↑	↑	↑	↑	-	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26計画	81.5	4,158	39,200	43,358	43,358	↑	↑	↑	↑	→	→	現状継続 増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

# 鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		広域行政の推進							158頁	
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	企画財務部企画課長	渥美 和生								
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策43：効果的・効率的な行政経営（企画財務部，総務部）							157頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■総合的・計画的行政の推進（企画財務部）■計画的・効率的な財政運営（企画財務部）■行財政改革推進（総務部）								
4 目的		広域的な取組により，生活圏及び経済圏の拡大に対応した行政サービスを効果的，効率的に実施している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	広域行政推進のための会議において広域的な行政課題の解決に向けて協議した取組件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計最終目標（H27）		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	8		
	実績値	4	4	8	7	-	-			
	指標設定背景・根拠	広域的な行政課題について自治体間で情報共有し課題解決のための協議を行うことは，広域行政の推進につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	840	819	815	465	740	-	-	-
		概算人件費	2,000	1,600	1,600	1,600	1,200	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	2,840	2,419	2,415	2,065	1,940	-	-	-
	(内)一般財源	2,840	2,419	2,415	2,065	1,940	-	-	-	
7 総合評価 (25年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>広域的な行政課題の解決に向けて協議した会議の開催数は，前年度に比べて1回減の7回となった。</p> <p>広域としての圏域全体の活性化に向けた取組よりも，自治体共有課題に対する情報共有や先進的な取組の調査研究に重点化している。</p> <p>平成27年度までの計画期間においては，多くの行政課題を共有できる会議等となるよう協議していく。</p>								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>インターネットによる情報入手の容易性から，市民が入手できる行政に関する情報量も多く，自治体間の取組比較も容易となっている。</p> <p>市民ニーズを的確に把握し，適切に対応していくためには，生活圏や経済圏にとどまらず他自治体の先進的な取組事例を研究することも必要である。</p>								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の27年度における優先順位の考え方)		<p>広域行政推進のための会議については，行政課題解決に向けてヒントを得られるよう，情報交換，情報共有の場の一つとして活用していく。</p> <p>また，人口減少の進行に伴い，基礎自治体において現在の行政サービス維持が懸念される中，自治体間の新たな広域連携が示されており，既存の広域行政も含めて，考え方を整理していく。</p>								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	27年度にお ける事業の 方向性	27年度予 算配分等 に関する 優先順位
1	継続 1号	115001 広域行政推進事務					企画課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	鈴鹿亀山地区広域連合で の協議件数			件		
	23実績	1	1,007	2,000	3,007	3,007	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	1	840	2,000	2,840	2,840	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1
	24実績	1	819	1,600	2,419	2,419									
	25計画	1	815	1,600	2,415	2,415	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1
	25実績	2	465	1,600	2,065	2,065									
	26計画	1	740	1,200	1,940	1,940	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1
	26実績														
	27計画														
27実績															
2															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

## ⑤行財政経営計画検証委員会 委員名簿

- ・杉浦 礼子（すぎうら れいこ）

高田短期大学キャリア育成学科 教授

- ・土川 禮子（つちかわ れいこ）

鈴鹿市男女共同参画審議会 会長

- ・林 佳代子（はやし かよこ）

鈴鹿市青少年育成市民会議 事務局長

- ・平井 憲章（ひらい のりゆき）

鈴鹿国際交流協会 理事長

- ・山崎 昭（やまざき あきら）

鈴鹿市体育協会 専務理事

※五十音順

## ⑥鈴鹿市市民委員会規則（一部抜粋）

（設置）

**第1条** 市政における各種行政課題等に関し市民からの意見を聴くとともに、市民参加の開かれた市政の運営等に資するため、鈴鹿市市民委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（名称等）

**第2条** 委員会の名称、所掌事項等は、別表のとおりとする。

（任期）

**第3条** 委員会の委員は、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（委員長）

**第4条** 委員会に、委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

（部会等）

**第5条** 委員会に専門事項の調査検討、軽易な事項の審査等必要があるときは、部会又は小委員会を置くことができる。

（事務局）

**第6条** 委員会の事務を処理させるため、委員会に、事務局を置く。

（委任）

**第7条** この規則に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、要領で定める。

（別表）

### 30 鈴鹿市行財政経営画検証委員会

目的	総合計画の基本計画である行財政経営計画の目標達成のため、社会情勢や市民ニーズと照らし合わせて、行財政経営計画の適切な進行管理を図る。
所掌事項	(1) 行財政経営計画の進行管理の検証に関すること。 (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項
選任基準	(1) 鈴鹿市総合計画審議会委員経験者 (2) 学識経験者 (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者
定数	5人以内
任期	2年以内
事務局	企画財務部企画課